

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010400020101	事務事業名	観光総務管理事務事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG		
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開		内線番号	2613		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市の観光推進施策にかかる経費。
 ・一般旅費及び消耗品
 ・観光課所管の公用車(2台)維持管理費

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 観光課所管の公用車数	台	2	2	2	2
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 観光客						
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 霧島市を知ってもらう。						
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう。						
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市経営健全化推進計画(第2次/改訂版)(平成26年12月策定)において、持続可能な健全財政を確立するため歳出削減に関する取組みを全庁的に推進する必要があるとされ、その中で、需用費や役務費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・水道の浪費等を厳に慎むことで削減に努め、また、ランニングコスト削減に資する機器の導入を検討し、維持管理費の削減に努めることとされている。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,823	1,765	1,660	1,855	2,968
事業費		千円	1,823	1,765	1,660	1,855	2,968

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
観光推進にかかる旅費及び観光課所管の公用車(2台)の維持管理にかかる経費を主に支出した。	会議等に出席することにより、関係団体等との情報共有や連携を図ることで、観光客誘客に繋がった。 また、公用車を車検整備することにより、安全で快適な運行に努めることができた。

事務事業コード	0107010400020101	事務事業名	観光総務管理事務事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
B 有効性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	消耗品等については削減の余地もあるが、公用車の車検整備代等については必要最低限の経費であり削減できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	必要最低限の人員数であり削減できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○			○			
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	本事務事業としては、これまで観光客の誘客に効果的・効率的に実施していることから、新たに取り組むべき課題はない。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	引き続き、観光客の誘客に効果的・効率的に取り組む。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403020301	事務事業名	特産品協会運営支援事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一		
施策名	02	商工業の振興		グループ	観光PRG		
基本事業名	03	霧島産物・技術を活かした製品(商品)開発の促進		内線番号	2612		
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 10 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等 関連計画		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価				

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市内に存在する2団体への運営費補助として補助金を交付していたが、平成21年度に二つの団体が合併して一つの団体となった。(市の活動)：各特産品協会に補助金を支出するための手続き(申請書等の受付から補助金の交付など)を行い、特産品の開発、宣伝の推進を図る。(特産品協会の活動)：地域の特産品の開発及び販売経路の拡充。市内事業者81団体が加入。地場産業の一翼を担うため、会員間の相互理解と連携を強め、霧島ブランドにふさわしい特産品のPRや、国内外への販路開拓、また、観光とリンクした特産品産業の振興を通じて、地域経済の活性化を促進するため、関係各所との連携を図り、各事業に取り組んでいる。

①物産展出店推進(県内外各種出展事業、イベント等出展事業)
 ②霧島ブランド化策定(きりしまブランド策定事業、地産地消推進事業、霧島オリジナル商品開発事業、特産品調査研究事業)
 ③広報拡大(PR広報渉外事業、会員拡大の推進) ④その他 各実行委員会への参加

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア	特産品協会が開発した特産品の数(延べ)	個	6	5	9	11
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア 特産品協会会員	会員数	人	84	83	78	80
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 新たな特産品を開発させる	開発された特産品の数	個	6	6	9	11
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 霧島産物、技術を活かした製品(商品)が開発される	6次産業化に認定された件数	個	7	7	7	8
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

特に無し。

4. 事業費の推移

		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	1,154	1,154	1,154
		事業費	千円	1,154	1,154	1,100

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組)	(2) 平成27年度の成果
<取組内容を数値等により具体的に記載> 特産品協会会員 78人 これまでに開発された特産品の数 9個	<左記の実績(取組)による成果を記載> 事務局である、きりしまミクスが中心となり、地域の特産品の開発及び販売経路の拡充並びに霧島ブランドの確立を図った。会員がそれぞれ、競争心を持ちながら、霧島ブランドの底上げをしたり、品質保持に努めてもらった。また、協会を通じて、各イベントへも積極的に参加してもらった。

事務事業 コード	0107010403020301	事務 事業名	特産品協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	特産品協会へ活動資金を交付することにより、新たな特産品の開発や特産品をPRするための特産展等への参加ができ、霧島ブランドの競争力を強化することができ、意図に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、恵まれた自然環境や地域文化に根ざした多くの特産品について、ブランド化を推進する必要があるので妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市内特産品協会が連携し、共同開発することで、新たな特産品の数が増える余地がある。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	活動資金がないと、協会が解散することになる恐れがあり、新たな特産品の開発やPR活動ができなくなり、霧島ブランドの競争力が落ちることになる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	自主財源が少なく、これ以上の削減は特産品協会の運営に支障をきたすため削減の余地はない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は補助金交付事務のみであり、人件費の削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	特産品協会へ補助金を交付することで、霧島ブランドの競争力が高まれば、関連事業者への経済効果も大きく、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○			○			
(2)平成28年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	事務局である「きりしまミクス」が中心になり、会員間の相互理解と連携を強化し、特産品のPRと県内外への販路開拓や、観光と協同した特産品の振興を通じて、地域経済の活性化と霧島ブランドの確立、会員数の増加を図る。						
(3)平成29年度の方向性 (具体的な取組)	地域の特産品の開発及び販売経路の拡充並びに霧島ブランドの確立、また、ターゲット地区を決め、県内外で開催される物産展等に観光PRと連携し、特産品の販売・PRの強化を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0107010503030101	事務事業名	惣陣が丘花文字照明設置委託事業		担当部	商工観光部
					担当課	観光課
政策名	03	活力ある産業のまちづくり			担当課長	八幡洋一
施策名	03	観光業の振興			グループ	観光地づくりグループ
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開			内線番号	2615
予算科目	会計	一般会計		事業期間	■ 単年度のみ	
	款	07 商工費			<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度	
	項	01 商工費			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	05 施設管理費			根拠法令・条例等	
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

平成26年度に完成した惣陣が丘展望所には地域おこしグループ「NPOふっきやまぼっけもん会」が中心になってツツジの植栽をした巨大な花文字「フクヤマ」がある。
この花文字にお盆、年末年始にイルミネーションを付け、帰省客や観光客へのイメージアップを図ってきたが、照明等の破損や老朽化により電飾設置が困難となっていた。そこで、地元の方やぼっけもん会からの要望があり、霧島市のPRと地域活性化の為に省電力のLED電球を使ったイルミネーションを設置する。
延長 760m

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	花文字イルミネーション設置数	か所		1	1	
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象しているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	惣陣が丘の花文字					
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	イルミネーションを設置する					
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる					
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成25年から花文字のイルミネーションがなくなり、地域の人々も物足りなさを感じていたが、LED電球のイルミネーションを設置したことにより、以前よりもくっきりとしかも優しいオレンジ色の光に地元はもとより観光客などからも好評を得た。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円			0	0
	県支出金	千円		1,364	0	0
	地方債	千円		0	0	0
	その他	千円		0	0	0
	一般財源	千円		1,610	0	0
	事業費	千円	0	0	2,974	0

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
延長は760m、電球数は31,000球、事業費2,974,228円	設置したLED電球はオレンジ色の暖色系の光でくっきりと見え、飛行機の利用客等に対して大きなPR効果となり、霧島市の新しい魅力の発信ができた。また、設置については福山地区自治公民館やNPOふっきやまぼっけもん会、商工会青年部らの協力も得てライトアップだけではなく、惣陣が丘全体を活用したイベント等の開催を実施するなど地域の一体感が生まれた。 延長が760mと長い延長でありながら、LED電球のため電気代の節約につながった。 ライトアップについては、平成28年度からゴールデンウィーク、お盆、クリスマス、年末年始の期間に実施する予定としている。

事務事業コード	0107010503030101	事務事業名	惣陣が丘花文字照明設置委託事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	(2)平成28年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)						
(3)平成29年度の方向性 (具体的な取組)							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	(2)総評						

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030101	事務事業名	マスコミを利用した広告事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG		
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開		内線番号	2612		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 50 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

国内外からの多くの観光客を誘致するため、旅行情報誌・新聞及びホームページへの霧島市の観光情報の掲載など、様々なメディアを利用し、積極的な情報発信を行っている。
 ※平成27年度の掲載媒体
 <旅行情報誌等>
 ● 月刊LEEP10月号…48,000部 ● 九州ドライブWalkerFREE…120,000部 ● 月刊LEEP「GW特集」…48,000部
 ● 読売新聞秋の九州観光特集…890,000部 ● 旬刊旅行新聞…32,000部 ● 福岡市営地下鉄車内窓上広告(6か月分)
 ● 読売新聞鹿児島版…32,000部 ● 国内活性化フォーラムinかごしま…2,500部

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	掲載回数	回	15	16	8	8
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	広告を掲載した旅行雑誌、新聞等の読者	掲載媒体販売部数	万部	285	350	1,186	350
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	霧島市の情報を得る。	広告を見た人の数(掲載媒体発行部数)	万部	285	350	1,186	355
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	霧島市を訪れる観光客が増加する。	国内からの宿泊観光客数	人	872,446	1,017,000	832,424	857,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和50年代に合併前の各市町村を情報発信するために開始された。日本経済の長引く不況により国内の旅行者は年々減少している。そのような中で、より訴求力のあるタイミングでの媒体を用いて広告を掲出すべきか十分に情勢を見極めながら打っていく必要がある。

4. 事業費の推移

		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,900	900	894	850
事業費		千円	2,900	900	894	850

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<旅行情報誌等> ● 月刊LEEP10月号…48,000部 ● 九州ドライブWalkerFREE…120,000部 ● 月刊LEEP「GW特集」…48,000部 ● 読売新聞秋の九州観光特集…890,000部 ● 旬刊旅行新聞…32,000部 ● 福岡市営地下鉄車内窓上広告(6ヶ月分) ● 読売新聞鹿児島版…32,000部 ● 国内活性化フォーラムinかごしま…2,500部	各種新聞や旅行情報誌等に掲載することで、霧島市の認知度向上に貢献した。

事務事業コード	0107010403030101	事務事業名	マスコミを利用した広告事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	広告を掲載した旅行雑誌・新聞等の読者は、霧島市の情報を得ることで、霧島市を訪れることにつながるの、意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光情報を発信することは、市の重要な役割であり妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	観光客を誘致する上で、広く情報を提供する手段として最も重要な事業であるが、部数発行や広報媒体の見直しを行う事で、より効果的な宣伝効果が期待できる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	観光を計画している方は、ホームページなどによる情報手段だけでなく、雑誌広告により一定の地域以外も含めた形で計画をたてることもあり、この事業がなくなると、霧島の観光情報を発信する機会が減少し、認知度が低下する恐れがある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	広告掲載数量(頁又は質等)を少なくすることで、事業費を削減することはできるが、情報発信の機会が減る恐れがあることから、これ以上の削減は成果を大きく低下させる。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員の事務としては契約、支払、資料提供、取材協力等、最低限必要なものであり、削減できない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	不特定多数の人に発行している新聞・雑誌であり、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善						
(1)事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	掲載する媒体についてはターゲット地域を定め、その時の観光動向や経済状況等を勘案し、より効果の高い媒体、時期、エリアを分析し、広告を掲載していく必要がある。							
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	平成27年度に掲載したエリアやターゲット地区も含め、発行部数や広告媒体の見直しを行うことで、より効果的な宣伝効果が期待できるような取組みが必要である。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局					
(1)事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030102	事務事業名	観光案内板・電照看板設置事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりG		
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開		内線番号	2615		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 50 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	なし	
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

新幹線やJRを利用し鹿児島を訪れた観光客に対して本市への誘致を図るために、広告看板を設置する事業。
 ・昭和50年代に隼人駅前及び隼人駅構内、日当山駅前に観光案内看板を設置(3枚)
 ・平成16年に九州新幹線が開通したことに伴い、鹿児島中央駅に電照看板を設置(1枚)
 ・平成27年度に地方創生事業により、鹿児島空港国際線出発口に電照看板(1枚)及び外国語表記を記載した観光案内板(43箇所)を設置した。
 ※電照看板とは・・・カラーフィルムに裏から照明をあてて広告するもの

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 設置枚数	枚	4	4	48	48
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 駅利用者(鹿児島中央駅)	新幹線利用客数	人	4,013,137	4,020,000	4,132,561	4,210,000
イ 空港利用者(鹿児島空港国際線)	鹿児島空港国際線:乗降客数	人	130,665	140,000	163,841	200,000
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 霧島市を知ることができる	看板を見た人(九州新幹線利用客数)	人	4,013,137	4,020,000	4,132,561	4,210,000
イ 霧島市を知ることができる	看板を見た人(鹿児島空港国際線:乗降客数)	人	130,665	140,000	163,841	200,000
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 国内からの宿泊観光客数が増加する	霧島市観光統計	人	872,446	1,017,000	832,424	857,000
イ 国外からの宿泊観光客数が増加する	霧島市観光統計	人	88,063	100,000	110,932	116,000
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和50年代に隼人駅、日当山駅を利用する旅行者に隼人地区を案内するために設置された。
 平成16年に九州新幹線が一部開業するのに合わせ電照看板を設置した。平成23年3月12日には九州新幹線が全線開業した。
 平成27年にインバウンド対策のため、地方創生事業で鹿児島空港国際線出発口に電照看板を設置した。
 鹿児島中央駅に設置している霧島市の空撮を使った電照看板を見て霧島市に移住を決めた方もいて好評である。議会などからの意見はなし。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	24,847	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,173	1,760	1,345	2,840
	事業費	千円	2,173	1,760	26,192	2,840
投資量						

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
鹿児島中央駅電照看板広告料 1,372千円 隼人駅電照看板広告料 133千円 日当山駅看板広告料 67千円 鹿児島空港看板広告 955千円 観光案内板 23,480千円 観光案内板設置土地借上げ料 188千円	鹿児島中央駅の看板については霧島市の空撮を使用し、海と山を抱えるダイナミックな霧島市及び霧島温泉大使アヒル隊長をアピールし、多くの乗客等に周知することで多くの方に霧島市を知ってもらえた。 人の多く集まる駅や交通量の多い道路や観光施設に、霧島市の外国語表記を記載した観光案内板を設置することで霧島市内を周遊しやすい環境を整えた。

事務事業コード	0107010403030102	事務事業名	観光案内板・電照看板設置事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	駅利用者等が霧島市を知ることができる場を提供することが、霧島市を観光地として認知してもらえることに繋がっている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市を観光地としての認識度を高めるため観光情報を発信をするものなので妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	案内板の見直しを行い、必要に応じて情報や写真の更新などを通して新しい霧島市の情報を案内できようとする。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	鹿児島中央駅や鹿児島空港に設置してあるので、この事業をなくすと、鹿児島中心部の駅や鹿児島空港から霧島市を広く知ってもらう手段が無くなり、観光客への周知ができなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	賃貸借をしている場所は広告料が決まっている。また、より多くの駅及び空港利用者に霧島市を認知してもらうために削減することはできない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	看板設置業務は、契約及び支払事務のみであり、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	広く誰でも知ることができる事業であるので公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○		○				
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	事業を継続し、限られたスペースで霧島市のPRを効果的に行うため内容を常に確認し、新しい観光施設や情報の更新などの漏れがないようにしていく。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	隼人駅の看板については外国語表記を掲載した看板に変更する。また、限られたスペースで霧島市のPRを効果的に行うため内容を常に確認し、新しい観光施設や情報の更新などの漏れがないようにしていく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局	商工観光部	池田 洋一		
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○		○				
(2)総評	観光案内板・電照看板設置事業については、霧島市を広く周知するための事業であり、引き続き事業を実施し、最新情報等を更新しながら必要に併せて事業拡充を行うことが望ましい。						

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030103	事務事業名	観光宣伝事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG		
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開		内線番号	2611		
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

本市へ観光客を誘致することを目的に、各種観光宣伝を実施する。
 【主な活動内容】 効果的なイベント等への参加、マスコミ等表敬訪問の実施
 本市観光の魅力を伝えるための観光パンフレットやポスターの製作、発送
 【主な活動場所】 首都圏、関西圏、東海地方、中国地方、北部九州地区
 【平成27年度宣伝実施実績】
 関西かごしまファンデー(大阪)、東京おもちゃショー(東京)、観光セミナー・エージェンツ訪問(福岡)、福岡モーターショー(福岡)、福岡圏霧島市ふるさと会・トレッキングショップ訪問(福岡)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	実施回数	回	26	26	30	32	34
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	国民	日本の人口	千人	126,773	129,360	126,962	129,679	130,000
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	各種イベント・観光宣伝で霧島市を知ることができる。	宣伝日数(延べ)	日	55	60	68	70	75
イ								
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	霧島市を訪れてもらう。	国内からの宿泊観光客数	人	872,446	1,017,000	832,424	857,000	882,000
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

我が国は、本格的な人口減少、超高齢化社会の到来など、社会のあらゆる面で大きな変革期を迎えており、国内旅行市場においても市場の成熟化が進んでいる。
 また高速交通網の発達や情報通信技術の進展は、移動時間の短縮や、多くの情報を容易に手に入れることを可能し、観光客のニーズを更に多様化している。
 社会環境の変化、多様な観光スタイルへの的確な対応と時期を捉えた施策の展開が求められている。

4. 事業費の推移

		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,617	8,853	8,667	4,332	4,390
事業費		千円	3,617	8,853	8,667	4,332	4,390

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
平成27年度においては、メディア等を通じてターゲットを明確に絞ったイベントへの参加を実施した。また、旅行会社やトレッキング専門店など、ターゲットを絞ったセールス(売込み)や、環霧島会議が主催する周遊列車ツアーの運行対応も併せて実施した。 なお、霧島市への観光を計画されている方などに観光パンフレットを送付し、霧島市への来訪のお手伝い、サービスを行った。 平成27年度 観光パンフレット等発送実績 431件	霧島温泉大使アヒル隊長を活用したPR展開により、霧島市をより身近に訴求することが出来た。 また、ターゲットを明確にしたイベントへの参加を行ったことで、霧島市のもつ魅力のイメージを訴えることができ、メディア等への露出と併せ、魅力的な観光地としての「霧島市」の知名度向上やイメージがアップに繋がった。 さらには、旅行会社へのセールス活動やトレッキング専門店へのセールス活動の展開により、市場ニーズの把握や新しい観光素材や切り口(見せ方)に気付くことができ、今後のPR活動の幅を広げることが出来た。

事務事業コード	0107010403030103	事務事業名	観光宣伝事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	国民が、各種イベント・観光宣伝を通じて霧島市を知ることができ、国内からの宿泊観光客数の増加に繋がる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光客を誘致するための宣伝を行う必要があるためである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	観光宣伝をすることによって霧島市の知名度が向上し、イメージアップにつながっているが、多様な観光スタイルへの的確な対応と時期を捉えた施策を展開すれば、成果向上の余地は大いにある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	観光宣伝事業は、霧島市の知名度向上・イメージアップを図るために重要であり、廃止すると霧島市を観光地として認知してもらい機会がなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合 観光かごしま大キャンペーン推進協議会 県観光課や県観光連盟と連携して観光宣伝を行う際であっても、県と市の役割分担を行い、費用等を互いに負担することで、互いが限られた予算内で効果的な成果を生む事業展開が可能となる。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	よりメディア露出を絡めた観光プロモーションを実施出来れば事業効果を高めることはできるが、費用は削減できない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	各種業務において、各職員自席のPC端末でインターネットに接続された状態で業務を行うことが出来れば、無駄な人件費を削減することが出来る。そのことは同時に、事業効果の向上、お客様サービスの向上に繋がる。※現状1台のインターネットPCでは、移動時間、待ち時間、データ持運び時間などロスが非常に多い。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市が観光宣伝を行い、霧島市の知名度を上げることは、霧島市を訪れる観光客増加に繋がり、全市的に経済効果が高まるため公平公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○		○			
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	昨年度に引き続き、旅行エージェン等へのプロモーション型の観光宣伝を中心に行い、マスコミやメディア等への露出を積極的に実施していく。イベント型の観光宣伝への参加は、ターゲットが明確で、より効果的なものに絞り、マスコミ・メディア等を活用した観光宣伝を実施していく。 また、霧島市観光協会や各旅館協会等との組織と連携し、官民協働による観光宣伝を行い、事業効果の高い観光宣伝を行う。同時に、観光協会や各旅館協会等の自主的な活動を促し、民間の視点でのPRを行うことによる成果の向上も図っていく。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	年度当初でターゲット地区を定め、その時の観光動向や経済状況等を勘案し、霧島市観光協会や各旅館協会等の組織と連携し、官民協働による観光宣伝を行い、事業効果の高い観光宣伝を行う。同時に、観光協会や各旅館協会等の自主的な活動を促し、民間の視点でのPRを行うことによる成果の向上も図っていく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	0107010403030104	事務事業名	市PRスタッフ運営協議会活動支援事業			担当部	商工観光部	
						担当課	観光課	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり			担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興			グループ	観光PRG		
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開			内線番号	2611		
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 50 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	07 商工費				根拠法令・条例等		
	項	01 商工費						
	目	04 観光費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市PRスタッフ運営協議会に補助金を交付し、同協議会が行う霧島ふるさと大使の選考・活動を支援している。(市の活動)同協議会に補助金を交付し、同協議会の事務局を担う。(霧島市PRスタッフ運営協議会の活動)霧島ふるさと大使選考会の開催、霧島ふるさと大使の活動支援
 ※ 霧島市PRスタッフ運営協議会とは、市内外で開催される各種イベントや観光宣伝において、霧島市をPRし観光客を誘致することを目的に選定する霧島ふるさと大使(PRスタッフ)の選考会の開催や活動を支援する団体で、霧島市・霧島商工会議所・観光協会にて組織される。(霧島ふるさと大使募集の概要)○ 霧島ふるさと大使 3名募集
 ○ 任務 7月から1年間、霧島市をPRするための観光宣伝や物産展、霧島市の主催・後援・協賛する行事等に参加
 ○ 応募資格① 霧島市に居住か職場がある方で、18歳以上(高校生を除く)の健康でやる気のある方なら、老若男女・未婚既婚を問わない。② 月平均3、4日程度の業務・出張に従事できる方。③ 自薦・他薦を問わない。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア	出務回数	回	26	40	30	30
イ	PRスタッフ選考会応募者数	人	15	15	10	15
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア 市民	霧島市の人口	人	127,259	129,360	126,962	129,679
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 各種イベント・観光宣伝で効率的に観光PRができる。	出務人数(延べ)	人	51	85	44	44
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう	国内からの宿泊観光客数	人	872,446	1,017,000	832,424	857,000
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和50年代、南九州における新婚旅行ブームが下火になり、観光客の減少に歯止めをかける手段としてミスコンテストを行い、ミスによる観光PRを全国各地で行うことで、観光客の誘致を図ることを目的に開始された。平成19年度に応募対象に男性も応募できるようになり、PRスタッフとして1名選出された。
 老若男女や未婚・既婚をイメージする名称を廃止し、誰でもなれる新たな名称に変更するように求められていたため、平成20年度、公募により市PRスタッフ「霧島ふるさと大使」に名称を変更した。意見等は特になし。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,400	1,400	1,400	1,400
事業費		千円	1,400	1,400	1,400	1,400

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
年間を通して県内外で各種イベントに参加し、ステージでの観光宣伝やテレビ・ラジオ・新聞等へのメディア・マスコミ出演を行った。また、本市でキャンプを行うプロチームの歓迎セレモニーで花束贈呈のおもてなし活動に従事し、本市誘客拡大に繋がった。	第8代の選考会には10名の応募(うち選考会当日1名欠席)があり、霧島ふるさと大使に対する認知度と、ステータスが高まっている結果が得られた。

事務事業コード	0107010403030104	事務事業名	市PRスタッフ運営協議会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	霧島市民が各種イベント・観光宣伝で効率的に観光PRができ、霧島市を観光地として認知してもらえることに繋がっている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光客を誘致するための宣伝を行う必要があるので妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	霧島ふるさと大使の観光宣伝の回数を増やせば、霧島市を観光地として認知してもらい機会が増え、成果向上の余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	霧島ふるさと大使は、霧島市の知名度・イメージアップを図る重要な存在であるので、廃止をすると観光宣伝を効率的に行えなくなり、霧島市を観光地として認知してもらい機会が減る。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	霧島ふるさと大使の制服作成費は、4年前からさつきプライドよりご提供いただき事業費を削減している。大使の任期を複数年に延長することで事業費は削減できる一方、任期延長により、予期せぬ諸事情による大使の欠員、活動の停滞などが懸念され、これ以上事業費の削減はできない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	協議会の運営を観光協会等に移譲を検討したが、現状の観光協会の体制では委譲後の協議会の運営が停滞し、観光PRに支障をきたす恐れがあるため、委譲できない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島ふるさと大使の募集は全市を対象に行っており、観光宣伝の機会を通じて、霧島市を全国各地にPRするため公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○		○			
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	霧島ふるさと大使の活動が行政・民間を問わず、様々な形で活躍できるように連携していく。 また、昨年度から歴代の大使や選考会に参加された方、「霧島が好きで、霧島のために活動したい」と思う方々で組織した「きりしまフレンズ」制度を立ち上げ、霧島市の観光発展に寄与いただく。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	効果を出すためには活動を増やすことが必要であるが、それに伴い経費が必要となる。現行の予算の範囲内では活動が制限されるため、活動の際に主催者から日当を準備いただくなどの協力を依頼する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030105	事務事業名	市観光協会活動支援事業		担当部	商工観光部	
					担当課	観光課	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり			担当課長	八幡洋一	
施策名	03	観光業の振興			グループ	観光PRG	
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開			内線番号	2613	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 21 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

(公社)霧島市観光協会の事業及び運営補助として補助金を交付している。
 (市の活動)同協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、補助金交付)を行う。
 (同協会の活動)観光案内、霧島市の情報発信、観光商品の開発、チラシの作成・配布、観光イベントの実施
 ※(公社)霧島市観光協会は、(社)大霧島観光協会・国分市観光協会・隼人町観光協会、国立公園霧島観光協会が合併しH21年4月に発足した
 ※平成25年4月1日から公益社団法人に移行
 観光イベントの開催事業:霧島さんろくグラウンドゴルフ大会
 国内からの観光誘客事業:雲仙市姉妹盟約締結記念事業、地区別温泉地パンフレット作成助成、雑誌メディアを活用した情報提供事業、ホームページ等による観光情報の発信事業、コンベンション誘致事業、自転車天国霧島事業、インバウンド対策事業等

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	補助した団体数	団体	1	1	1	1	1
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	観光業者・従事者	観光協会に加入している事業所数	数	246	250	244	250	250
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	市観光協会の活動運営を支援することにより観光誘客のための事業を推進する	観光宣伝をした回数	回	7	9	9	10	11
イ	市観光協会の活動運営を支援することにより観光誘客のための事業を推進する	イベントを実施した回数	回	21	22	22	23	24
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	霧島市を訪れてもらう。	国内からの宿泊観光客数	人	872,446	1,017,000	832,424	857,000	882,000
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市が合併し、観光振興を一体となって推進するために、(公社)霧島市観光協会は、(社)大霧島観光協会・国分市観光協会・隼人町観光協会、国立公園霧島観光協会が合併しH21年4月に発足した。
 観光客や観光関係者の情報提供として情報の一元化とホームページの充実などが必要である。各種イベント等について霧島市観光協会が事務局を担うことが望ましい。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	1,500
		一般財源	千円	16,950	25,290	25,290	24,409
		事業費	千円	16,950	25,290	25,290	25,909
投入量							

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
1. 観光客の誘致促進事業 (上記、事務事業の概要に記載) 2. 観光客の受入整備事業 霧島ジオパークの推進事業、観光案内・紹介事業、観光事業功労者等表彰事業、観光スポットへの周遊・受入促進事業、諸団体等との連絡及び提携事業、霧島温泉地区雑用水管理運営事業 龍馬ハネムーンウォーク、天孫降臨霧島事務局	情報提供・意見交換を密にし、市と観光協会と一体となった誘致宣伝活動やインターネットなどを活用した新たな情報発信に努めた。 また、観光協会会員とも情報提供・意見交換を密にし、一体となった観光宣伝などを行った。 自主事業の費用対効果を分析し、スクラップアンドビルドに取り組んだことにより、効率的な観光宣伝等を行うことができた。

事務事業 コード	0107010403030105	事務 事業名	市観光協会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光業者・従事者が、市観光協会の活動運営を支援することにより観光誘客のための事業を推進することで、霧島市を訪れてもらうことにより宿泊観光客を増やすことを意図するため結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は観光協会と共に霧島市の観光に関するリアルタイムな情報発信と県内外からの観光客誘致活動を行わなければならないため妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	観光宣伝やイベントの実施と共に、ホームページなどインターネットを活用した情報提供により、よりリアルタイムで広範囲にPRする方策を検討する必要がある。 個別に補助金申請を行っているイベント等の事業を一括して補助することで、柔軟性の高い事業運営が行える。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市の観光案内や観光客誘致を担っており、補助金の廃止によって事業規模を縮小すると、観光客への情報提供や受入体制が大幅に悪化することになる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	市からの補助だけでなく、新規事業など国や県などの補助事業活用や参加者からの収入などで、自主財源を確保する必要がある。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	類似のイベントの補助金を統合することで、補助金申請事務手続き等の事務を削減することが出来る。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光協会は霧島市全域を対象とした観光案内や情報発信等を行う団体であり補助金を交付することは公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善・コスト縮小					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○		○			
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	現在行っている観光客の誘致促進事業や観光客の受入整備事業を見直し、また新たな事業展開を図る。昨年に引き続き情報提供・意見交換を密にし、市と観光協会と一体となった誘致宣伝活動やインターネットなどを活用した新たな情報発信に努める必要がある。 併せて、自主事業の費用対効果を分析し、スクラップアンドビルドに取り組む必要がある。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	自主事業の分析結果に基づき、見直しや廃止等を検討し、効果的なプロモーション及び活動を展開を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030106	事務事業名	霧島大使運営事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG		
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開		内線番号	2612		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 20 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

本事業は平成20年度から開始し、市勢全般について理解を深め、それぞれの立場から市政に対する提言や意見を頂いている。また、本市の観光の魅力や特産品等の紹介、宣伝など、本市のイメージアップに繋がる活動及び企業誘致や定住促進など、市勢発展に寄与していただき、また本市の更なる宣伝効果につなげることを目的としている。なお、委嘱は各関係課からの推薦に基づき行い、その後の事務的な業務は、推薦があった関係課と観光課が連携して行っている。

【おじゃんせ霧島大使委嘱者】辛島美登里・井上一樹・白鵬 翔・堤 剛・陸奥一博・猫ひろし・生島ヒロシ・西田聖志郎・重田千穂子 計9名
 【霧島市ふるさと大使】細山田明義(首都圏霧島市ふるさと会最高顧問)、原口悟郎(首都圏霧島市ふるさと会会長)、末満利昭(首都圏霧島市ふるさと会会長代行)、梶島義則(首都圏霧島市ふるさと会幹事長)、宮村憲一(元トヨタ車体研究所エグゼクティブアドバイザー) 計5名
 【観光宣伝】それぞれの活動の場で霧島市をPRしてもらう。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア 委嘱者数(延べ)	人	12	12	14	15
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア 国民	人口(4/1現在)	億人	1	1	1	1
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 霧島市の情報を得ることができる。	名刺を受取った人数	人	2,400	2,400	1,400	1,400
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 国内からの宿泊観光客数	霧島市観光統計	人	872,446	1,017,000	832,424	857,000
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

本市にゆかりや関係がある著名人等に対し、霧島大使を委嘱することで、その方の広い活動範囲や内容を活用した、本市の知名度向上やイメージアップ、魅力のPRにつなげるため、平成20年度から実施している。平成27年度に新たに2名を委嘱し、現在14名の幅広いジャンルの方が大使として任命されている。

4. 事業費の推移

単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	
事業費 投入量	国庫支出金	千円 0	0	0	0
	県支出金	千円 0	0	0	0
	地方債	千円 0	0	0	0
	その他	千円 0	0	0	0
	一般財源	千円 212	166	132	166
	事業費	千円 212	166	132	166

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
---------------------------------------	-----------------------------------

「霧島ふるさと大使」として活動する際に使用して頂くための名刺を各100枚制作した。	14名の大使については、それぞれの分野で霧島市をPRしていただき、本市発展に寄与していただいた。
---	--

事務事業コード	0107010403030106	事務事業名	霧島大使運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	国民が霧島市の情報を得ることができ、国内からの宿泊観光客数の増加に繋がる。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、霧島市に観光客を誘致するための活動をする必要があり、妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	霧島大使が、各分野で活動する際に霧島大使の名刺を活用頂くことで、様々な分野での本市のPRが可能となり、市の更なる知名度向上に繋がる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	著名人によるPRを行うための有効な手段が失われる事になり、影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	名刺と盾のみを授与しており、他の経費が発生しないため削減余地はない。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	本課の事務は、候補者推薦があった場合の事務手続きや大使訪問時の調整、運営等である。理想的には、霧島大使の活用は観光面に絞らず、推薦した関係課等を中心に積極的に業務で活用することで、事業効果も高まり、本課の人件費も削減できると考える。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島のイメージアップにつながる活動であり、公平・公正といえる。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○		○			
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	本市の観光振興及び市政発展に資するため、推薦した関係課を中心に霧島大使の活用を促し、積極的に大使を活用する体制作りを行う。 また、平成28年度から秘書広報課において新たに設置されるシティプロモーショングループと連携を図りながら、より効果的な活用方法を検討する。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	霧島大使と関係課が連携することにより、観光課に集中する事務量の軽減と、各事業において霧島大使が活躍し、霧島市を全国に発信する事業展開を目指す。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030109	事務事業名	観光客誘客事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		担当課長	八幡洋一		
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開		グループ	観光PRG		
				内線番号	2612		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 22 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

本事業は、霧島市内の観光関係組織で構成され、本市への誘客促進と地域経済の発展を目的に活動を展開している「いざ霧島キャンペーン実行委員会」への事業補助金を支出している。
 同実行委員会は、事務局を市観光協会と市観光課で担い、平成22年度の口蹄疫からの復興を目的に設立され、これまで新燃岳噴火に伴う風評被害対策やキャラクターPR事業などを大きな事業に掲げ実施してきた。
 また、本市を来訪する観光客の満足度を高め、再訪に繋げるために、観光業従事者の「おもてなし」意識の向上にも繋げる事業を実施している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	補助した団体数	団体	1	1	1	1	1
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	観光業者・従事者	数	246	250	244	245	245
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	
ア	経済的に豊かにする	観光客数(宿泊+日帰り)	人	7,568,596	7,800,000	7,557,063	8,118,000	8,280,000
イ	経済的に豊かにする	観光客数(宿泊+日帰り)×観光客1人当りの消費額	百万円	57,033	56,990	49,776	56,900	58,000
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにとどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	
ア	霧島市を訪れてもらう	国内からの宿泊観光客数	人	872,446	1,017,000	832,424	857,000	882,000
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成22年4月に宮崎県で発生した口蹄疫からの復興を目的に「いざ霧島！100万人キャンペーン実行委員会」への事業補助金として開始された。開始時期は口蹄疫からの復興や新燃岳の風評被害対策など、災害復興を目的に事業展開していたが、平成23年度～平成24年度は九州新幹線開業の効果拡大事業等を実施し、本市への誘客促進と地域経済の活性化を目的に事業展開している。
 平成25・26年度は、JR九州豪華寝台列車「ななつ星in九州」の運行にあわせ、地域と連携しおもてなしに努めた。

4. 事業費の推移

		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	26,620	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	3,000	0
		一般財源	千円	6,500	6,000	1,439	6,042
		事業費	千円	6,500	6,000	31,059	6,042
投入量							

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
指宿市、霧島市への誘客を促進するために、広域連携による効果的な誘客キャンペーンを展開し、両地区観光客の増加を目的に、指宿と霧島が対決するという話題性や明確な切り口により、県内外のマスコミ、メディア等による本県露出向上が図れ、県内の観光客が増加し、県内各地の経済活性化に繋がった。 活性化団体活動支援事業は、昨年度に引き続き、各活性化団体の連携により、肥薩線沿いを花いっぱい彩り、また、トイレ清掃や高校生によるおもてなしで観光客を迎える体制を整えた。 その他、地方創生交付金を活用した誘客事業の展開や、海外へのトップセールスも併せて実施した。	前年度に引き続き、指宿と霧島が連携し素材説明会への参加、キャンペーンなど鹿児島県内、九州、関西等のマスコミ、メディア等による本県露出向上が図れ、鹿児島県内の観光客が増加し、県内各地の経済活性化に繋がった。また、各活性化団体の連携により、おもてなしで観光客を迎える態勢を整えた。 地方創生交付金を活用した誘客事業では、外国人観光客が安心して観光できるよう、多言語表記した観光案内板の設置や公衆無線LANの整備、GPSを利用した音声案内ガイドシステムの導入など、受入態勢の充実を図った。

事務事業コード	0107010403030109	事務事業名	観光客誘客事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光業者・従事者が霧島市をPRすることで経済的に豊かにし、霧島市を訪れてもらう宿泊観光客を増やすことで、事業の意図に結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	いざ霧島キャンペーン実行委員会は官民一体となった組織であり、本事業の成果は、市内全体の観光業者・従業者を豊かにするものであるから妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	官民一体となって事業に取組み、最新の観光動向や観光トレンドを読み取り、話題性のある事業展開を行うことで成果指標を向上させることができる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	同実行委員会への補助金を廃止した場合、本市において官民一体となった組織がなくなり、効果的な事業展開が実施できなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費の削減は成果の減少に繋がるため、削減余地はない。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	事務局運営を市観光協会と共同で行っているが、協会との事業分担を同じ割合で明確に行い、事業実施においては、連携しながら、互いが補完する体制を確立することで業務時間を削減できる。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	いざ霧島キャンペーン実行委員会は観光関係の官民一体となった組織であり、霧島市全域を対象とした観光案内や情報発信等を行っていることから、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	本年度においても観光客の誘致促進事業、受入態勢支援事業、広域観光交流事業を中心に活動を展開していくが、これまでの誘客事業や活動を検証しながら、より効果的なプロモーションを行う。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	観光客受入態勢の更なる充実・強化に努め、観光客数の増加を図る。また、インバウンド対策へも積極的に取組み、海外へのプロモーション活動を展開する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0107010403030201	事務事業名	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業	担当部	商工観光部	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課	
施策名	03	観光業の振興		担当課長	八幡洋一	
基本事業名	02	地域の特色を活かした観光資源の開発		グループ	観光地づくりG	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 8 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)	
	款	07 商工費			関係法令・条例等 霧島市補助金交付規則等	
	項	01 商工費				
	目	04 観光費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会に補助金を交付し、同実行委員会が行うスポーツ団体誘致活動を支援している。また、市は同実行委員会の事務局も担っている。
 (市の活動) 同実行委員会に補助金を支出するための手続きを行う。
 (実行委員会の活動) 団体誘致のためのセールス活動(5月、10月、12月)、歓迎セレモニーの実施(年間)、誘致団体との連絡調整(年間)。
 ※霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会とは、H8年よりリーグをはじめとする各種スポーツ団体の合宿等を霧島市に誘致し、市の活性化と観光客の誘致を図ることを目的に発足した団体である。
【平成27年度招致実績】
 サンプルッチェ広島、京都サンガF.C.、FCソウル、太陽誘電、かずさマジック、ホンダエンジニアリングソフトボール部等 計19団体

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア	誘致活動回数	回	3	3	3	3
イ	キャンプをPRした日数	日	25	25	25	25
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)		
ア	プロ・アマチュアのスポーツ団体	現在誘致活動を行っている団体数	団体	15	15	21	22	23
イ	旅行エージェント	PRを行ったエージェント数	社	4	4	4	5	6
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)		
ア	霧島市でキャンプを行ってもら	キャンプを行った団体(全体)	団体	14	17	19	20	21
イ	情報提供をしてもら	キャンプを行った団体(新規)	団体	4	10	5	6	7
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)		
ア	観光に活用できる資源が開発される。	開発された観光資源の数	本	37	40	39	45	50
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成5年度に発足したリーグを誘致するため平成8年度からリーグチームをはじめとするプロ・アマチュアのスポーツ団体を誘致し、市の活性化と観光客の誘致を図ることを目的に発足した。本市でキャンプを行うスポーツ団体はプロ・アマともに年々増加し続けている。ただし、施設は限りがあり希望通りの日程がとれず本市でのキャンプを断念する団体もある。議会ならびに誘致団体からはスポーツ施設のより一層の充実が望まれている。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,200	2,200	2,200	2,000	2,000
事業費		千円	2,200	2,200	2,200	2,000	2,000

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
県主催の団体誘致セミナー(福岡、韓国等)の参加などにより、団体の誘致に成功した。またプロ・アマチュア団体を中心に歓迎セレモニーを実施した。 【継続団体】サンプルッチェ広島、京都サンガF.C.、FCソウル、ホンダエンジニアリングソフトボール部、太陽誘電女子ソフトボール部、新日鐵住金かずさマジックほか(計14団体) 【新規団体】岡山龍谷高校サッカー部、関西大学ハンドボールサークル、龍谷大学サッカー部、大阪国際大学サッカー部、豊国学園高校サッカー部(計5団体)	平成27年度は新規団体の誘致はさほど増えなかったものの、継続して本市にキャンプに来る団体数増加に成功し、キャンプ誘致に伴う観光客誘客に寄与した。

事務事業コード	0107010403030201	事務事業名	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	プロ・アマチュアのスポーツ団体に霧島市でキャンプを行ってもらうことや旅行エージェントに霧島市についての情報提供を各種団体に対してしてもらうことで間接的に観光に活用できる資源が開発されている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の目的のひとつに市の施設の有効活用も含まれており、市が事業をすることが妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	スポーツ専門誌などへの霧島市の情報掲載。また誘致セールスの取組などを他の事業と連携し、従来とは異なる地区、年齢層への周知の取組みなど向上余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	同実行委員会が行っている誘致・歓迎にあたって連絡・調整・実施に関する各種事務を廃止すれば、スポーツ団体の誘致がなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	平成25年度から宿泊施設に対して一定の負担金を求め事業費に充てており、県内他の市町村に比べて事業費が潤沢にあるとはいえないが、事業の運営に支障をきたすことがないように事業費の削減を図る。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	必要最小限の職員数で事務を行っており削減余地はない。また、他の団体に事業を移管した場合は委託料として人件費に当たる相応の金額を支出しなくてはならず事業委託の選択肢は有効でない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	一部のスポーツ団体や旅行エージェントに限定した事業ではないため公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	本市でキャンプを行う団体は新規より継続してきていただいているところが増加している。キャンプが集中する時期については屋外の運動施設については空きがない状態である。そこで、今年度は屋内競技などへの誘致はもちろん、継続してきていただいているスポーツ団体に対してのケアを充実していきたい。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	受入態勢を充実するとともに、スポーツ教室や公開練習試合などを通して地元のスポーツに親しむ方と関わりを持てるような取組をしていく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030202	事務事業名	森林セラピー推進事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりG		
基本事業名	02	地域の特色を活かした観光資源の開発		内線番号	2614		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	なし	
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

国土緑化推進機構が提唱する「森林セラピープロジェクト」は、森が持つ癒し効果を科学的に解明し、森で過ごすことによって日頃のストレスを解消し、健康な日常生活を送ることが目的である。全国で霧島市を含む62の団体が森林セラピー基地及びセラピーロードに認定(霧島市は平成19年3月認定)されており、認定基地及び認定ロードではその地域独自のセラピーメニューを考案して観光振興や地域振興に活用することができる。
 <関連計画>観光基本計画
 【森林セラピーロード】柳ヶ平、丸尾自然探勝路、手洗散策路、霧島神水峡遊歩道

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	体験イベントの回数	回	2	2	2	2
イ	セラピーロード数	本	3	4	4	4
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	観光客(イベント参加者)	人	53	100	103	100
イ	指導者(森林セラピーガイド)	人	7	7	5	7
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	癒される	%	100	100	100	100
イ	ガイドを養成する	回	5	5	5	6
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	観光に活用できる資源が開発される	本	37	40	39	45
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市誕生以前の平成17年中に、旧牧園町の関係者からこの事業に対する取り組みが提案され、合併後も霧島市に引き継がれている。平成17年中に第2期の森林セラピー候補地として名乗りをあげ、平成18年中に専門家チームによる生理実験を実施し、癒し効果が科学的に解明され、平成19年3月に九州で2番目、鹿児島県では初めてとなる森林セラピー基地に認定された。平成25年度からはセラピーガイドクラブも発足し、今後は事業の拡大及び充実が期待される。市民や議会などからの意見は特になし。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	1,259	1,388	1,391
		事業費	千円	1,259	1,388	1,391
投資量						

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
森林セラピーイベントの開催(7月、11月) 県外イベントでの周知及び誘致	平成27年度は7月と11月にセラピーイベントを実施したが、イベント参加者の100%の方からよい評価をいただいた。また、広報誌やフリーペーパーなど情報誌への掲載もありセラピーガイドクラブへのガイド申請も増えた。

事務事業コード	0107010403030202	事務事業名	森林セラピー推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？	年に2回のイベントなどの参加者が増加すれば観光に活用できる資源が開発されることにつながる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	
② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市は、霧島市としての特色づくりと情報発信を行う必要があり、霧島温泉地区において、施設整備や健康メニューの検討などを協議し、森林セラピー基地としての事業展開を確立する必要があることから妥当である。
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？	将来的には更なるセラピーロードの整備をし、温泉・健康食品・クラシック音楽など、各種の資源を活かしたセラピーメニューを開発すると共に、医療とも連携したセラピー事業を展開することにより、セラピーロード数も増え、成果の向上余地がある。
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある	
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？	森林セラピー基地の認可を受けただけで、終わってしまい、セラピーロードを整備・活用しなければ観光商品として活用できない。
⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない	類似事業がある場合の事務事業名等
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	必要最小限の事業費であり、削減余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない	平成25年度に設立された霧島森林セラピーガイドクラブへセラピーイベント事業の一部を移管することで業務時間の短縮につながり人件費の削減ができる。
	<input type="checkbox"/> 削減できる	
⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	<input type="checkbox"/> 削減できない	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	セラピーロードは誰でも無料で利用できるのが公平・公正である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	
<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	事業を森林セラピーガイドクラブへと移管することを検討しているものの、ガイドクラブのメンバーは発足時に比べ減少している。そこで、本年度はガイドクラブ養成講座を開講しメンバーの増員を図る。また、事務局移管を進めるに当たり年に2回企画運営したイベントのうち1回をガイドクラブに企画運営してもらう。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	森林セラピー事業を推進する一方、事務局を森林セラピーガイドクラブへ移管するべく、役割を整理する必要がある。また、市としても平成28年度にガイド養成講座によって増員された森林セラピーガイドクラブのメンバーがしっかりと活躍できるよう森林セラピーの周知等サポートを継続する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030205	事務事業名	初午祭開催支援事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		担当課長	八幡洋一		
基本事業名	02	地域の特色を活かした観光資源の開発		グループ	観光PRG		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

多年にわたり、鹿児島神宮周辺住民の生活の中で受け継がれてきた「記録作成等の措置を構すべき無形の民族文化財」に選択された「薩摩の馬踊りの習俗」を後世に保存・継承するとともに、初午祭の円滑な事業推進を図る。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 初午祭に訪れた人数	万人	10	10	10	10
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 市民	霧島市の人口	人	127,259	129,360	126,962	129,679
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 初午祭に訪れることにより、霧島市の魅力を再認識できる。	初午祭に訪れた人数	万人	5	5	5	5
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	11
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

多年にわたり鹿児島神宮周辺住民の生活の中で受け継がれた「記録作成等の措置を構すべき無形の民俗文化財」に選択された「薩摩の馬踊りの習俗」を後世に保存・継承するとともに、初午祭の円滑な事業推進を図っているところであるが、馬主の確保や後継者不足が深刻である。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		0	0
		県支出金	千円		0	0
		地方債	千円		0	0
		その他	千円		0	0
		一般財源	千円		2,253	2,453
		事業費	千円	0	0	2,253
投入量						

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績 (取組) による成果を記載>
これまでの単人町民芸保存会における活動等について、所管を教育委員会と観光課に分け、引き続き初午祭については観光課所管とし、開催支援を行った。	当日は天候にも恵まれ、県内外から多くの観光客で賑わい、霧島市の魅力を伝えることができた。

事務事業コード	0107010403030205	事務事業名	初午祭開催支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	初午祭の開催支援であり、初午祭の保存・継承活動に取り組むと共に、広めてもらう。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光資源の活用、宣伝については霧島市のPRにも繋がり、また地域の活性化も図られていることから妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	開催支援事業であり、向上の余地はない。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	自主財源のみでは保存・継承ができなくなり、初午祭が開催できなくなる恐れがある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	自主財源が少なく、これ以上の削減は保存・継承に支障をきたす。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	補助金交付事務及び開催支援が主な業務であり、削減できない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	初午祭は霧島市を代表する観光資源のひとつでもあり、保存・継承していくことで、霧島市を県内外へ広くPRできることから、行政の支援は必要であり、公平公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
		○	○				
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	生活の周辺から馬がいなくなり久しいところで、出場馬の確保が難しく、かつ馬主についても高齢化が進み後継者がいない。鳴物と踊り手も同じく高齢化が進んでおり現状維持すら難しい状況であり、祭の開催とは別に保存・継承に向けた取組みが必須である。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	現在の実行委員会組織においては、祭りを開催するにとどまり、保存・継承に向けた取組みについては十分に支援が出来ていない。祭り消滅の危機感を持って関係者(文化振興課等)と協議のうえ、保存・継承を目的とした団体の設立及び支援策を検討する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030301	事務事業名	安楽妙見温泉街並みづくり活動支援事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡 洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2611		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 50 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

妙見・安楽地域の活性化と連帯感を深めることを目的として、設立された団体。地域住民を会員として運営されている。温泉振興会・安楽温泉振興会に対し、国道223号沿線に花を植栽するための補助金を交付している。
 (市の活動) 妙見温泉振興会・安楽温泉振興会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理・交付決定・実績報告・補助金交付)を行う。
 (団体の活動)
 日本最古の温泉由来がある安楽温泉の景勝と街並みを守り、地域振興の発展のため、旧牧園町の町木であるモミジを継続的に植栽し、安楽温泉の名所づくりに努め、市内外からの集客をはかり、霧島市の観光事業行政に寄与することを目的としている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	2	2	2	2
イ 植栽等活動参加者数	人	40	40	40	40
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 妙見・安楽地区の団体	補助した団体数	団体	2	2	2	2
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 景観向上のための整備をする。	植栽等もみじ管理活動回数	回	5	4	5	4
イ 景観向上のための整備をする。	管理施設数	箇所	2	2	2	2
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 霧島市への観光客数が増加する。	国内からの宿泊観光客数	人	872,446	1,017,000	832,424	857,000
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

国道223号沿線に花を植栽することによって、霧島を訪れる観光客に癒しの一時を提供するとともに、地域住民の連帯感を深めることを目的に昭和50年から開始された。特に変化なし。

4. 事業費の推移

投入量	単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0
	その他	千円	0	0	0
	一般財源	千円	711	661	661
事業費	千円	711	661	661	615

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
補助した団体数 2団体 植栽等活動参加者数 40人	和気公園までのモミジ街道づくりに加え、藤まつりへの参加、和気神社・大飼の滝周辺の看板外灯管理、龍馬ハネムーンウォークや九州オルレ歩道の下刈り整備等を行った。 妙見・安楽の各温泉振興会へ街並みづくり(花の植栽)に係る補助金を交付し、霧島地域の観光の玄関口である同地区の国道223号線沿いにもみじを植栽したり、草刈等の整備を実施することで、景観を向上させ、観光客へ「観光地霧島」というイメージを持ってもらうことに努めた。

事務事業コード	0107010403030301	事務事業名	安楽妙見温泉街並みづくり活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	妙見・安楽地区の景観が向上することは、霧島市観光客の増加につながることで結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるため、妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	花の植栽面積は限度があり、拡大、縮小の余地はない。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	補助金が廃止・休止になれば、花の植栽面積減少し、景観も低下する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 妙見・安楽地区観光客誘致活動支援事業 妙見・安楽への観光客誘致促進のための補助事業はあるが、目的が異なるため、統合することはできない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	最低限の予算で花を植栽しており削減余地はない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	通り会も自主財源を投資しており、街並み全体がきれいになるので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○			○			
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	和気公園までの紅葉街道づくりや和気神社・犬飼の滝周辺の看板街灯管理、龍馬ハネムーンウォークや九州オルレ歩道の下刈り整備等を行うことで、同地区を訪れる観光客に対して美しい景観を提供し、観光客の満足度アップに努める。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	妙見・安楽の各温泉振興会への街並みづくり(花の植栽)に係る補助金を交付し、霧島地域の観光の玄関口である同地区の国道223号線沿いに花を植栽し、観光客の満足度及び「観光地霧島」のイメージ向上を図っていく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010503030301	事務事業名	市内各種観光施設維持管理総務事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりグループ		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2615		
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	05 施設管理費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市経営健全化推進計画(第2次/改訂版)(平成26年12月策定)において、持続可能な健全財政を確立するため歳出削減に関する取組を全庁的に推進する必要があるとされ、その中で、需用費や役務費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・水道の浪費等を厳に慎むことで節減に努め、また、ランニングコスト縮減に資する機器の導入等を検討し、維持管理費の縮減に努めることとされている。

【修繕事務】・市内観光施設の修繕を行う。
 【光熱水費】・市内観光施設のトイレなどの電気料、水道料などの支払い
 【委託料事務】・市内観光施設のトイレ清掃や除草作業を行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	修繕の実施回数	件	23	23	36	23	23
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	課内の各種業務						
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	円滑に実施される						
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにとどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる						
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市経営健全化推進計画(第2次/改訂版)(平成26年12月策定)において、持続可能な健全財政を確立するため歳出削減に関する取組を全庁的に推進する必要があるとされ、その中で、需用費や役務費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・水道の浪費等を厳に慎むことで節減に努め、また、ランニングコスト縮減に資する機器の導入等を検討し、維持管理の縮減に努めることとされている。

4. 事業費の推移

		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	13,624	10,719	12,936	15,408
事業費		千円	13,624	10,719	12,936	15,408	15,415

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
観光施設等の維持管理を実施した。 ○光熱水費:885,612円(トイレや市所有の駅など) ○修繕料:2,405,530円 塩浸温泉龍馬公園足湯配管修繕 297,000円 塩浸温泉龍馬公園温泉ポンプ修繕 291,600円 霧島高原国民休養地コテージ水道管修繕 112,800円 他 ○委託料:6,129,482円 トイレ、駅等の清掃業務や浄化槽維持管理業務 大出水湧水公園周辺整備事業用地測量業務委託 696,600円 大出水伐採業務委託 316,440円 ○使用料:若鼻鼻遊歩道の簡易トイレ借上料 130,086円	適切な維持管理に努め、観光客に快適な施設等の提供をすることができた。

事務事業コード	0107010503030301	事務事業名	市内各種観光施設維持管理総務事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
B 有効性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	事業費はトイレの清掃、光熱水費、除草作業などの維持経費であり、トイレの数を見直し撤去することで維持経費の削減ができる。	
	<input type="checkbox"/> 削減できない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できる		
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	業務については維持管理に必要な光熱水費や委託料、修繕等の契約、支払い業務等が主なものであり、また、快適な観光施設を維持するために必要な経費であり削減できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続				休止	廃止
(1)事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	
		○	○				
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	常にコスト意識を高く持ち、削減に努める。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	常にコスト意識を高く持ち、削減に努める。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局					
(1)事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010503030302	事務事業名	観光案内所管理運営事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2614		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	なし	
	項	01 商工費				なし	
	目	05 施設管理費				なし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	なし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島神宮大鳥居横にある「霧島市観光案内所」の委託契約を公益社団法人霧島市観光協会と締結している。観光案内所では、地元の特産品販売の他、足湯、駐車場、トイレの管理や観光案内業務を通して霧島市へ訪れた観光客に対しておもてなしをしている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 営業日	日	361	362	363	361
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 観光客	案内人数	人	53,710	65,000	40,934	41,000
イ 観光客	足湯利用者	人	32,226	40,000	30,804	31,000
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 満足度を向上させる	苦情件数	件	0	0	0	0
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	11
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市で最も多くの方が訪れる霧島神宮大鳥居近くに場所を設ける観光案内所には多くの観光客が訪れる。案内所には事務所の他、トイレ、足湯もあり観光客の休憩所としてもなくてはならない場所であり地元霧島地区の方々にとっても大切な場所である。市民や議会からも否定的な意見はなく、今後も観光地霧島をPRし、観光客をもてなす受け皿として期待される。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,409	5,411	5,410	5,411
事業費		千円	5,409	5,411	5,410	5,411

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
指定管理委託料 5,390,742円 ○浄化槽ブローラ取替修繕 313,200円	・「自転車天国」事業による自転車の展示と貸し出し、観光客に着物を貸し出す「ぶらり参拝、霧島神宮。」事業や外国語にも対応した観光音声ガイドシステム「きりしま聴き旅」事業の受付対応などにより霧島の魅力をPRした。 ・市役所に設置してあった給茶機を貰い受け案内所内に設置し、霧島茶のPRと観光客へのおもてなしのため無料で提供。 ・観光客が気軽に観光案内を開けるよう、スタッフの接客の向上に努めた。

事務事業コード	0107010503030302	事務事業名	観光案内所管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	霧島市の人気観光スポットである霧島神宮の大鳥居横という、観光客が気軽に立ち寄れる場所に観光案内所はあり、観光客にとって重要な情報収集の場となっている。観光客に対しスムーズかつ多種多様な情報を提供することで、観光地「霧島市」としての満足度を向上させ、観光客をもてなす受け皿をつくる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光客をもてなし、受け入れる体制を整備することは市の責務であり、妥当である。また、受け入れ体制の整備によって観光客の増加につながり、観光地周辺の経済効果を高めることにもつながる。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	現時点で大きな問題等はないが、年々案内所及び足湯の利用者数が減少している。観光案内所として、また観光地の一つの足湯として、より利用する観光客が増えるようPRが必要である。また、観光案内業務等のサービス業は常に改善を目指すものであり、現状に満足せずに向上を目指す姿勢は常に持ち続けるべきである。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	無料で観光案内をする施設は、他に丸尾の観光協会があるが、霧島神宮周辺とは離れており、観光案内所が廃止された場合、近隣に観光客が観光情報を収集できるような施設がなくなってしまう。廃止することは、観光客に不便さを強いることになり観光地としてのイメージダウン及び観光客の減少を招く。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現在、最小限の指定管理委託料で業務委託をしており、削減は難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現在、最小限の指定管理委託料で業務委託をしており、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	利用に関して条件はなく、訪れた観光客すべての人が利用できるため、公平・公正性は確保されている。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	平成28年度も引き続き利用者が満足できるように事業を行なう。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	指定管理者と密に連絡を取り、平成29年度も引き続き利用者が満足できるように事業を行なうことが望ましい。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030302	事務事業名	九州自然遊歩道維持管理受託事業			担当部	商工観光部
政策名	03	活力ある産業のまちづくり	担当課	観光課			
施策名	03	観光業の振興	担当課長	八幡洋一			
基本事業名	03	観光客の受入体制充実	グループ	観光地づくりG			
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費					
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

九州自然歩道は、九州管内の国立、国定、県立等の自然公園や山岳公園、湖等の大自然の中をゆっくり歩き、また、史跡、文化財を訪ね、日頃失われがちな人間の回復を図り、あわせて体力増進に役立てるためにつくられたものです。九州を一周するこの歩道は全長約2,932kmで、このうち鹿児島県の延長は約560kmで、霧島市には福山地内(狐ヶ丘)に3.7kmあり、桜島や錦江湾の眺望が広がり、初夏には自生のツツジ、秋には銀色のススキの群生を見ることが出来る。また、この事業については、県からの受託事業である。

【委託先】公益社団法人霧島市シルバー人材センター
 【委託料】142,800円
 【委託業務内容】年4回の草払いや美化パトロール、軽微な修繕の実施

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア 作業にかかった人員	人	17	17	17	17
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア 観光客	観光統計	人	7,568,596	7,959,000	7,557,063	8,118,000
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 遊歩道からの景観により霧島市に魅力を感じてもらおう	苦情件数	件	0	0	0	0
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	16
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

九州自然遊歩道は、環境省の長距離自然歩道構想に基づき、全国で2番目に整備された自然歩道で、1980年に全線が開通した。定期的に草払い作業を行っており、訪れた人への配慮を行っているが、長年の風雨により一部歩道が歩きづらい部分がある。

4. 事業費の推移

投入量	単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
	県支出金	千円	143	153	143
	地方債	千円	0	0	0
	その他	千円	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0
事業費	千円	143	153	143	143

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
年に4回の草払いを行い、訪れた人に美しい景観を提供できるようにした。 除草費用 143千円	定期的な草払い等を行い、利用者が気持ちよく利用できるように努め、利用者からの苦情等はない。

事務事業コード	0107010403030302	事務事業名	九州自然遊歩道維持管理受託事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由		
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？	観光客等が遊歩道を歩いたり、景観を眺望することによって霧島市に魅力を感じてもらえるようにし、来訪者をもてなす受け皿ができることにつながっている。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている			
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない			
A 目的妥当性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	県からの受託事業であり、市は、観光施設の整備、景観形成等、観光客を受け入れる体制を整える必要があるのが妥当である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある			
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？	維持管理を徹底し、また広く周知することで、観光客数も増加につながり、成果の向上が更に図られる。		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある			
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない			
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？	九州がひとつの道でつながっているため、美化作業を廃止することはできない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない			
B 有効性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	市内各種観光施設維持管理総務事業	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない	県からの全額補助の事業であるが、除草などの定期的な維持管理の事業は市内各種観光施設維持管理総務事業があり、統合することが望ましいと考える。		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる			
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	県からの全額補助の事業であるため、削減できない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	委託事業であるため、削減の余地がない。		
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる			
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	九州自然遊歩道は誰もが歩くことができ、また憩いの場として利用できることから公平・公正である。		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある			

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○				○		
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	利用者が利用しやすい歩道とするため、県に対して階段等の歩道整備を要望し、利用者が満足できるように事業を行なう。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	事業内容としては除草作業等の委託であり、「市内各種観光施設維持管理総務事業」と統合することとする。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局	商工観光部	池田 洋一		
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○				○		
(2)総評	事業内容としては除草作業等の委託であり、「市内各種観光施設維持管理総務事業」と統合することが望ましい。						

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010503030303	事務事業名	国分キャンプ海水浴場管理運営事業		担当部	商工観光部	
					担当課	観光課	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり			担当課長	八幡洋一	
施策名	03	観光業の振興			グループ	観光地づくりグループ	
基本事業名	03	観光客の受入体制充実			内線番号	2615	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 57 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等 霧島市国分キャンプ海水浴場の施設の管理条例		
	項	01 商工費					
	目	05 施設管理費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
霧島市国分下井洲崎に設置している。 ■施設概要 トイレシャワー更衣室A(中央)(昭和57年7月完成)、 トイレシャワー更衣室B(西側)(平成8年2月完成) トイレシャワー更衣室C(東側)(平成9年3月完成)、 監視棟(昭和57年7月完成) 売店管理棟(昭和57年7月完成)、 炊事棟A(昭和57年7月完成)、 炊事棟B(昭和59年3月完成) 管理倉庫(平成5年5月完成)、 管理事務所(平成元年4月完成)、 バンガロー(平成9年3月完成) ■指定管理者 一般財団法人霧島市施設管理公社 ■指定期間 平成27年4月1日から平成32年3月31日まで						

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	開館日数(バンガロー、テント)	日	62	62	62	62	62
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	7,568,596	7,959,000	7,557,063	8,116,000	8,280,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 施設を利用してもらう。	施設利用者数	人	61,358	62,000	72,304	73,000	74,000
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	11	10
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)	
海水浴場の水質調査で最も高い評価である「AA」となっており、利用者から「水質に関しては安心して利用できる」と好評を頂いている。	

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	10,558	12,062	12,041	10,484	10,435
	事業費	千円	10,558	12,062	12,041	10,484	10,435

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理委託料】 10,456,457円	指定管理者による適正な管理がなされた。また、施設の維持管理も積極的に行なわれた。(排水溝清掃、砂浜整備等)

事務事業コード	0107010503030303	事務事業名	国分キャンプ海水浴場管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に施設を利用してもらうことで、来訪者をもてなす受け皿ができる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の施設であるので、妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	指定管理者の自主事業等により、利用者数が増加する可能性がある。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	バンガローの利用ができなくなり、警備員もいなくなるため安全に海水浴を楽しむことができなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	利用料金制(施設利用の料金が指定管理者の収入となる制度)を採用しているので、料金収入が向上すれば、指定管理者への委託料を削減できる。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理委託料に最低限の賃金を含んでおり、また、市職員についても、委託料交付、施設修繕等の最低限の事務を行っており、削減できない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	誰でも使用できる施設で、バンガロー等は利用者から利用料金を徴収しているので、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	平成27年度に一部の砂浜整備を行ったが、砂の流出や侵食があるため、中長期的に整備を行う必要がある。施設も老朽化が進んでいるため、整備を計画していかなければならない。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	指定管理者と密に連絡を取り、平成29年度も引き続き利用者が満足できるように事業を行なうことが望ましい。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030303	事務事業名	観光ボランティアガイド運営事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		担当課長	八幡洋一		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		グループ	観光地づくりG		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 19 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	特になし	
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

観光客の方により思い出深く、充実した旅行を提供できるように観光客からの申込を受け、案内可能な観光ボランティアガイド『しっちょいどん』の手配をする。『しっちょいどん』とは『しっちょい』は「いろいろなことを知っている」、「どん」は「人」の意味。旅行中、地域の方々と『しっちょいどん』を通して触れ合うことで、霧島の「おもてなし」を体感していただき、リピーター増加につながるようにする。また、より質の高い「おもてなし」を提供できるよう、定期的に『しっちょいどん』の研修を開催する。

【ボランティアガイド数】15名
 【ボランティア料金】お客様お1人につき300円
 【ガイドコース】①霧島神宮コース、②和気公園・犬飼滝コース、③日当山コース

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア	ボランティアガイド養成研修の開催回数	回	4	3	3	
イ	ガイドを行った回数	回	70	50	65	
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客数(宿泊+日帰り)	人	7,568,596	7,959,000	7,557,063	
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア ボランティアガイドを利用してもらおう	ガイドの案内人数	人	1,055	800	838	
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

大河ドラマ「篤姫」が放映されたことを契機に県内の観光地では篤姫に関する史跡を巡る観光ツアーが増えてきた。そのため史跡めぐりの際にまちあるきの案内をするガイドは必要であり、平成19年度から本市でも取り組みを開始した。近年の旅行形態は単なる物見遊山のものではなく、体験型が主流になっている。ボランティアガイドと一緒に実際にまちを歩き、テーマに沿った説明を聞き、そのものを見ると同時に住民とのふれあいもあることから、利用者のニーズに合った旅行形態であると考えられる。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	17	42	16	0
事業費		千円	17	42	16	0

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 2～3人のグループから、10人以上の団体まで様々な利用者に対応。 ボランティアガイドの案内件数65件、案内者数838人。 丁寧な説明や接客ができていくように3回の研修を行った。 霧島市シルバー人材センターのシルバー観光ガイドとの研修。 始良・伊佐地域観光ボランティアガイド研修に参加。 九州観光ボランティアガイド研修in熊本・山鹿に参加。 	平成28年度から観光ボランティア運営事業を観光誘客事業に統合する。

事務事業コード	0107010403030303	事務事業名	観光ボランティアガイド運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に対してガイドを行い、霧島市を知ってもらうことによって、来訪者をもてなす受け皿ができることに結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光客を受け入れる体制を整備することは市の責務であり、妥当である。受け入れ体制を整えることで、観光客の増加につながり、更には観光地周辺の経済効果が高められる。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	現在、観光ボランティアガイドは15名の登録であるが、高齢化が進んでいる。また、急きょガイドの申込が入ることも多々あり、対応できるガイドに偏りが生じている。安定した案内をするために類似団体と統合を含めた連携を図ることで向上する余地はある程度ある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	現在の観光客のニーズは着地型・体験型が主流となっていることから、今の時点で廃止することは観光客の減少を招き、観光地「霧島市」としてのイメージダウンにつながる恐れがある。また旅行会社からの依頼は数カ月先まで入るため直ちに休止等行うことは出来ない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 霧島市シルバー観光ガイド 観光客の案内を目的とした霧島市シルバー人材センターの観光ボランティアガイドがあることにより統合又は連携できる。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	研修に係る事業費であり、削減することはサービスの低下に繋がることから、削減は出来ない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	ボランティアガイドの運営は市の職員が行っており、霧島市観光協会への委託、又は霧島市シルバー人材センターの観光ボランティアガイドへの統合ができれば、職員の業務時間等を削減できる。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	常に申込順に行っており、料金も均一であることから、観光客への公平・公正さは確保されている。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善・連携					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)							
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	0107010403030304	事務事業名	日当山温泉旅館組合運営支援事業			担当部	商工観光部	
					担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり			担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興			グループ	観光PRG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実			内線番号	2611		
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費				根拠法令・条例等		
	項	01 商工費						
	目	04 観光費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

日当山温泉旅館組合とは、日当山地区への観光客誘致を目的として設立した団体。日当山地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。(市の活動)
 日当山地区を訪れた観光客の受入のため、日当山温泉旅館協会が行っている観光誘致宣伝活動などの事業に対し入湯税の還元として補助金を支給している。
 補助金申請受付→補助金確定通知→補助金請求→補助金交付

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	補助した団体数	団体	1	1	1	1	1
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 国民	日本の人口	千人	127,083	126,597	126,980	126,950	126,950
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 日当山地区を知ってもらおう。	誘致のための宣伝活動回数	件	4	6	4	5	6
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう。	国内からの宿泊観光客数	人	872,446	1,017,000	832,424	857,000	882,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

日当山地区を訪れる観光客の受け入れ体制の強化を目的に開始された。特になし

4. 事業費の推移

		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	245	246	246	276
事業費		千円	245	246	246	276	276

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
ホームページ作成による宣伝活動 日当山夏祭りや日当山秋の収穫祭と連携した誘客活動 日当山地区清掃活動(日当山駅2回・西郷どんの宿周辺1回)	鮎祭り、日当山夏祭りや秋の収穫祭を実施したことで、地域の活性化が図れた。 また、夏祭りではオリジナルタオルを作成・販売し、日当山温泉の知名度向上に努めることができた。

事務事業コード	0107010403030304	事務事業名	日当山温泉旅館組合運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	日当山温泉旅館組合に対する運営補助金は、観光宣伝等の観光客誘致宣伝活動を実施することで日当山をより知ってもらい、霧島市へ訪れてもらうことを目的としているため、現在の基本事業の意図とは結びついている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、来訪者をもてなす受け皿をつくるため、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等を行い、受入環境を整備する必要があるため妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	霧島市の観光振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客が減少し影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合 霧島温泉旅館協会運営支援事業等、他旅館協会への補助事業 観光協会や各旅館協会等と連携した事業を既に行っている。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	入湯税の配分率に応じた補助事業であり、市の負担は削減できない。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	日当山旅館組合は市からの補助金だけではなく会費も徴収し運営がなされているので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○		○			
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	日当山夏祭り等イベントを行い、観光客誘致と地域活性化、日当山地区の情報発信を行う。ホームページやリーフレットを活用した観光宣伝等を行い、日当山地区の知名度向上を図る。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携を強化し、より効果的な観光宣伝活動を行う。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0107010503030304	事務事業名	国分ハイテク展望台管理運営事業	担当部	商工観光部	
				担当課	観光課	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一	
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりグループ	
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2615	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 3 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)	
	款	07 商工費			<small>根拠法令・条例等</small> 霧島市国分ハイテク展望台の設置及び管理に関する条例	
	項	01 商工費				
	目	05 施設管理費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市国分ハイテク展望台(霧島市国分上野原テクノパーク2番1号)は個性的で魅力あるまちづくりを推進するための施設です。
 ■平成4年2月開館 ■鉄筋コンクリート3階建 ■敷地面積/15,564㎡
 ■延床面積/1階・・・355.84㎡(事務室、売店、食堂、トイレ等)、2階・・・219.06㎡(展示室、会議室、トイレ等)、3階・・・290.58㎡(展望室)、屋外施設(イベント広場、噴水、駐車場、トイレ等)
 ■開館時間 ア 4月1日から9月30日まで、午前9時30分から午後6時まで イ 10月1日から翌年の3月31日まで、午前9時30分から午後5時まで
 ■休館日 ア 月曜日(月曜日が祝日の場合はその後の最初の平日) イ 12月31日
 ■指定管理者 大成ビルサービス株式会社 ■指定期間 平成27年度から平成31年度まで

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア 開館日数	日	307	308	313	307
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	0	3	5	4
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	7,568,596	7,959,000	7,557,063	8,116,000
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 施設を利用してもらう。	施設利用者数	人	6,491	7,000	6,782	7,000
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	11
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

施設の老朽化により、雨漏りがある。木が大きくなり、街の景色が見づらいという意見があった。
 近隣施設である上野原ビジネスプラザにレストランがあるが、当施設が平成28年度で閉館されるため、現在1階の食堂が利用されていないことから、レストランをハイテク展望台へ残してほしいと近隣事業所から要望があった。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	33	24	27	24
	一般財源	千円	8,710	8,315	8,232	7,394
事業費		千円	8,743	8,339	8,259	7,418
投入量						

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理委託料】 7,424,510円	指定管理者による適正な維持管理がなされた。

事務事業コード	0107010503030304	事務事業名	国分ハイテク展望台管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に施設を利用してもらうことで、来訪者をもてなす受け皿ができる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の施設であるので、妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	指定管理者の自主事業等により、利用者数が増加する可能性がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	施設の利用が出来なくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	施設を運営する最低限の事業費なので、削減できない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理委託料に最低限の賃金を含んでおり、また、市職員についても、委託料交付、施設修繕等の最低限の事務を行っており、削減できない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	だれでも使用できる施設で、会議室等は使用者から利用料金を徴収しているので、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	近隣施設である上野原ビジネスプラザにレストランがあるが、当施設が平成28年度で閉館されるため、レストランをハイテク展望台へ残してほしいと近隣事業所から要望があった。このことを踏まえ、食堂施設として利用できるように修繕等を実施する予定である。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	適切な維持管理を行う。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	0107010503030305	事務事業名	台明寺溪谷公園管理運営事業			担当部	商工観光部	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり	担当課	観光課			担当課長	八幡洋一
施策名	03	観光業の振興	グループ	観光地づくりグループ			内線番号	2615
基本事業名	03	観光客の受入体制充実	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 4 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)				
予算科目	会計	一般会計		根拠法令・条例等	霧島市台明寺溪谷公園の設置及び管理に関する条例			
	款	07 商工費						
	項	01 商工費						
	目	05 施設管理費		関連計画	霧島市観光基本計画			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価					

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市台明寺溪谷公園(霧島市国分台明寺1253)は住民のレクリエーションと健康増進を図るための施設である。
 ■平成4年4月開園 ■施設 駐車場、東屋、遊具施設、橋、トイレ等

■指定管理者 大成ビルサービス株式会社 ■指定期間 平成27年度から平成31年度まで

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 開園日数	日	365	366	366	365
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	7,568,596	7,959,000	7,557,063	8,118,000
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 施設を利用してもらう。	開園日数	日	365	366	366	365
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	11
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

国分ハイテク展望台と共に指定管理者による管理を行っている。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	591	294	293	294
投入量	事業費	千円	591	294	293	294

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【台明寺溪谷公園指定管理料】 229,450円	指定管理者による適正な維持管理がなされた。

事務事業コード	0107010503030305	事務事業名	台明寺溪谷公園管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に施設を利用してもらうことで、来訪者をもてなす受け皿ができる。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の施設であるので、妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	指定管理者の自主事業等により、利用者数が増加する可能性がある。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	施設の利用が出来なくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	施設を運営する最低限の事業費なので、削減できない。
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理委託料に最低限の賃金を含んでおり、また、市職員についても、委託料交付、施設修繕等の最低限の事務を行っており、削減できない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	誰でも利用できる施設なので、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	適正な維持管理に努める。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	適正な維持管理に努める。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030305	事務事業名	妙見・安楽地区観光客誘致活動支援事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2611		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	霧島市補助金交付規則	
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

妙見・安楽温泉郷の中にある妙見温泉振興会、安楽温泉振興会の運営・宣伝事業に対し入湯税の還元として補助金を交付している。(市の活動)妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。補助金申請受付→補助金確定通知→補助金請求→補助金交付
 (各団体の活動)妙見・安楽地区を訪れた観光客の受入のための事業を行う。(モミジ植栽、サイン整備、街路灯の管理)*妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会とは、観光客誘致を目的として設立した団体。妙見・安楽地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	2	2	2	2
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 国民	観光客数	千人	127,083	126,597	126,980	126,950
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 安楽地区を知ってもらう	誘客のための宣伝活動回数	件	4	6	4	5
イ 妙見地区を知ってもらう	誘客のための宣伝活動回数	件	4	6	4	5
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 霧島市を訪れる観光客が増える	国内からの宿泊観光客数	位	872,446	1,017,000	832,424	857,000
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和40年代より、妙見・安楽地区の観光振興を図ることを目的に開始された。特に変化なし。特になし。特になし。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	188	190	190
事業費		千円	188	190	190	188
投入量						

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【安楽温泉振興会】 ・藤まつり、鮎まつりの開催協力 ・温泉神社祭り ・遊歩道の整備 【妙見温泉振興会】 ・インターネットを活用した宣伝活動(HP運営) ・九州オURRE霧島妙見コース管理 ・藤まつりの開催協力 ・日本温泉地域学会での観光宣伝活動(2回)	各振興会での宣伝事業等に加え、「いざ霧島キャンペーン実行委員会」等、他の観光関係団体とも連携した宣伝活動を行うことで、より効果的な宣伝活動が実施できた。 また、九州オURRE「霧島・妙見コース」の認定により、韓国からの観光客が訪れている。

事務事業コード	0107010403030305	事務事業名	妙見・安楽地区観光客誘致活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会に対する運営・宣伝補助金は、観光宣伝等の観光客誘致宣伝活動を実施することで妙見・安楽地区をより知ってもらい、霧島市への観光客数を増やすことを目的としているため、現在の基本事業の意図とは結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、来訪者をもてなす受け皿をつくるため、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等を行い、受入環境を整備する必要があるため妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	霧島市の観光振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客が減少し影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 霧島温泉旅館協会運営支援事業等、他旅館協会への補助事業 観光協会や各旅館協会等と連携した事業を既に行っている。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	入湯税の配分率に応じた補助事業であり、市の負担は削減できない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会は市からの補助金だけではなく会費も徴収し運営がなされているので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○		○			
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	藤まつりや温泉神社祭り等のイベントを行い、観光客誘致と地域活性化、妙見・安楽地区の情報発信を行う。ホームページやリーフレットを活用した観光宣伝等を行い、妙見・安楽地区の知名度向上を図る。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携を強化し、より効果的な観光宣伝活動を行う。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010503030306	事務事業名	霧島高原国民休養地管理運営事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2614		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 48 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	霧島高原国民休養地設置及び管理に関する条例等	
	項	01 商工費					
	目	05 施設管理費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
<p>【施設の概要】 国民休養地(牧園町)は、昭和48年に開館し、各種の野外レクリエーション施設で、敷地面積は26ヘクタールで管理休憩棟1棟、入浴施設1棟、セントラルロッジ1棟、コテージ9棟、ケビン5棟、炊事棟3棟、テニスコート、キャンプ施設などの施設があります。営業時間は午前9時～午後8時。 【指定管理者】 福地建設株式会社 指定管理期間 平成27年4月1日～平成32年3月31日</p>						

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	1	1	1	1
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	2	2	2	2
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 観光客	観光統計	人	7,568,596	7,959,000	7,557,063	8,118,000
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 多くの方に施設に来てもらう	施設利用者数	人	52,389	54,000	57,659	58,000
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア もう一度行ってみたい温泉地ランキン	じゃらん実施のアンケート	位	15	12	17	11
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)		4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)		
利用者からは清潔で従業員が親切であるなどのご意見が寄せられている。水場・トイレが少ない、グラウンド内に日陰が少ない、雨の日のパーベキューができるようにコテージに屋根がほしい等の苦情もあった。また、樹木に対する病気の蔓延など年々施設の維持管理に係る経費は多くなっている。平成26年度には市民や議会からは樹木に蔓延した病気(てんぐ巣病)への伐採対応について意見があった。		事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
				県支出金	千円	0	0	0	0	
				地方債	千円	0	0	0	0	
				その他	千円	0	0	0	0	
				一般財源	千円	1,568	2,306	2,303	1,146	710
				事業費	千円	1,568	2,306	2,303	1,146	710

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】 霧島高原国民休養地指定管理料 180,000円</p>	<p>適切な維持管理や景観を考慮した樹木管理により安心、安全、快適に利用できる施設として機能が確保できた。また苦情も無く安心して管理を委託できる。</p>

事務事業コード	0107010503030306	事務事業名	霧島高原国民休養地管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に施設を利用してもらうことで、来訪者をもてなす受け皿ができる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の所有物である本施設の管理を、市が行うのは当然である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	コテージなどの宿泊施設や温泉入浴者など利用者数について月事に差があり、少ない時期に誘客を行うことができれば施設管理者にとって更なる収入となる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	本施設は自然探索や温泉入浴、キャンプ体験など1年を通じて多くの方に親しまれており、廃止をすれば大きな影響が予想される。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者制度で運営を委託しており、事業費の削減は事業の運営に支障をきたすことが考えられる。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	人件費を含めて指定管理委託料の中で事業を行っており削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	安全面などのルールを守れば利用制限などはなく、だれでも利用できる施設であるため公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○	○					
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	本施設の指定管理については、概ね利用者から好意的な意見が多く適切に管理されている。一方、施設の老朽化などから毎年修繕を行っているため、今年度も指定管理者と連携を図りながら必要な維持管理業務を迅速に対応し、利用者の方が不便のないようにしていく。 消防法改正により、コテージ、ケビン等の宿泊施設に火災報知器を設置する。 【今後の施設修繕等見込み箇所】 ・コテージ 指定管理者と連携を取りながら利用者の方にとって愛される施設として今後とも維持管理を続けていく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030307	事務事業名	霧島温泉旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡 洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2611		
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	霧島市補助金交付規則等	
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島温泉旅館協会とは、温泉地の観光客誘致を目的として設立した団体。(牧園 丸尾地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。)(市の活動)
 霧島温泉地区を訪れた観光客の受入のため、夏の観光宣伝、霧島国際音楽祭にあわせロビーコンサートの実施など霧島温泉旅館協会が行っている事業に対し入湯税の還元として補助金を支給している。(団体の活動)
 霧島温泉地区に誘客を行うために各種宣伝活動(九面太鼓演奏、チラシ配布等)、イベント活動(きりしま郷土芸能の夕べ等)を実施した。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 誘客対策事業(自主事業等)の実施回数	回	11	11	14	11
イ 誘客対策事業(チラシ等作成)の実施回数	回	1	5	4	5
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 霧島市を訪れた観光客数	観光客数	人	7,568,596	7,959,000	7,557,063	8,118,000
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 霧島を観光してもらおう	事業の実施件数	件	26	30	26	30
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	11
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島温泉地区を訪れる観光客の受け入れ体制の強化を目的に昭和40年代から開始された。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,630	1,638	1,638	1,551
事業費		千円	1,630	1,638	1,638	1,551

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 霧島温泉旅館協会ロビーコンサート 3回 広告宣伝事業 3種類 霧島温泉感謝祭り きりしま郷土芸能の夕べ 7回 霧島高校ホテル・旅館実習受入協力 台湾セールス、台南市温泉組合との交流 	市内3施設においてロビーコンサートを実施し、170名の来場者があり、観光客へのおもてなしを行った。また、アウトドアショップセールス等の観光宣伝を行い、本市への観光客誘致を行った。その他、郷土芸能の夕べや、温泉感謝祭り等の自主事業を展開し、霧島を訪れる観光客へのおもてなしを行った。また、霧島市内の温泉組合・協会と台湾、台南市温泉組合が温泉PR協定を結び、交流を図った。

事務事業コード	0107010403030307	事務事業名	霧島温泉旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 結びついていない	霧島温泉旅館協会に対する運営補助金は、観光宣伝等の観光客誘致宣伝活動を実施することで丸尾地区をより知ってもらい、霧島市へ訪れてもらうことを目的としているため、現在の基本事業の意図とは結びついていない。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、来訪者をもてなす受け皿をつくるため、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等を行い、受入環境を整備する必要があるため妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	霧島市の観光振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客が減少し影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	入湯税の配分率に応じた補助事業であり、市の負担は削減できない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	旅館協会は市からの補助金だけではなく会費も徴収し運営がなされているので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○			○			
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携を強化し、より効果的な観光宣伝活動を行う。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	観光関係団体と連携を行い、事業推進における相互協力や、実施事業の合理化を検討する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0107010503030307	事務事業名	乗馬施設管理運営事業		担当部	商工観光部
					担当課	観光課
政策名	03	活力ある産業のまちづくり			担当課長	八幡洋一
施策名	03	観光業の振興			グループ	観光地づくりG
基本事業名	03	観光客の受入体制充実			内線番号	2614
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 47 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)
	款	07 商工費				
	項	01 商工費				
	目	05 施設管理費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島高原国民休養地設置及び管理に関する条例等

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】
乗馬施設(牧園町)は、昭和47年に開設し、野外レクリエーション施設で、敷地面積は15,835㎡で、本馬場、覆馬場、補助馬場、放牧場、クラブハウスの施設がある。営業時間は、午前9時～午後5時。休館日は水曜日(その日が祝日の場合はその翌日)

【指定管理者】
霧島愛馬会 指定管理期間 平成27年4月1日～平成32年3月31日

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	1	1	1	1
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	27	28	28	29
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 観光客	観光統計	人	7,568,596	7,959,000	7,557,063	8,118,000
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 多くの方に施設に来てもらう	施設利用者数	人	4,897	5,200	5,065	5,100
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア もう一度行ってみたい温泉地ランキン	じゃらん実施のアンケート	位	15	12	17	11
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島高原の自然の中を、爽やかな空気を吸いながら乗馬ができる本施設は経験豊富なスタッフも在籍しており、初心者から経験者までが乗馬を体験できる。また天候に左右されない全天候型室内馬場も完備している。本施設は2020年の鹿児島国体乗馬競技の会場に指定されていることから今後整備などが必要となる。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,736	5,607	5,479	5,109
事業費		千円	1,736	5,607	5,479	5,109
投入量						

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】 乗馬クラブ指定管理料 4,924,800円</p>	<p>適切な維持管理や馬により安心、安全、快適に利用できる公園として機能が確保できた。</p>

事務事業 コード	0107010503030307	事務 事業名	乗馬施設管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に施設を利用してもらうことで、来訪者をもてなす受け皿ができる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の所有物である本施設の管理を、市が行うのは当然である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	専門誌への情報掲載や、誘客事業など、従来とは異なる地区、年齢層へ新しい方法で乗馬体験の周知を図るなど誘客については向上余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	本市で唯一の乗馬施設であり、廃止をすることは利用者はもちろん、観光地霧島としても影響は大きい。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者制度で運営を委託しており、事業費の削減は事業の運営に支障をきたすことが考えられる。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	人件費を含めて指定管理委託料の中で事業を行っており削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	一部の人を対象とした事業でなく、安全面(身長120cm以上)を満たせば乗馬体験ができるようにしてあり公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善						
(1)事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	引き続き指定管理者と連携し施設の維持管理や利用客増加の取組などを指定管理委託のなかで行っていく。平成27年度はテレビコマーシャルで多くの方に知ってもらったので、今年度はチャンスと捉え自主事業などで多くの利用者確保を目指してほしい。							
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	引き続き指定管理者と連携し施設の維持管理や利用客増加の取組などを指定管理委託のなかで行っていく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局					
(1)事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010503030308	事務事業名	小浜海水浴場管理運営事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりグループ		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2615		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	霧島市小浜海水浴上級経書の設置及び管理に関する条例	
	項	01 商工費					
	目	05 施設管理費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

小浜海水浴場は錦江湾の湾奥部に位置し、桜島を望みながら、泳ぐことができる、遠浅で水質の良い海岸です。更衣室、シャワー室、休憩室などが完備されており、市内外からの海水浴客を受け入れています。管理については平成25年度までは地元の小浜地区自治公民館に委託しておりましたが、平成26年度からは警備を含めた管理運営を警備会社に委託しています。営業は毎年「海の日」から8月31日まで。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 開館日数	日	42	42	43	42
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客 (宿泊+日帰り)	人	7,538,991	7,959,000	7,557,063	8,116,000
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 施設を利用してもらう。	施設利用者数	人	5,188	5,500	5,680	5,800
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	11
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

海水浴場の開場時期は管理運営委託をしています。利用者からは景観もよく水質もよいとの声があります。議会からの意見はありません。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,518	2,744	3,227	2,669
事業費		千円	2,518	2,744	3,227	2,669
投入量						

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
海水浴場の砂浜の除石作業を実施。管理運営は警備会社に委託し、安全面への配慮等を行い、利用者の利便性の向上を図った。また、夏場の大型台風による倒木処理も行った。 除石作業委託 367,200円 倒木処理作業等委託 498,960円 管理・水難事故防止監視業務委託料 1,989,360円 駐車場整備委託 97,200円	海水浴場の管理、水難事故防止警備業務を警備会社に委託し、台風や悪天候、海の流木等による海水浴の危険性をいち早く判断し、国分キャンプ海水浴場と連携をとりながら速やかな対応するなど適切に管理した。

事務事業コード	0107010503030308	事務事業名	小浜海水浴場管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に施設を利用してもらうことで、来訪者をもてなす受け皿ができる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の施設であるので、妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	近年、施設の周知度が高まっており市外からの来訪者が多くなってきているため、さらなる広報を行なうことにより、利用者数が増加する可能性がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	防犯面から脱衣室、トイレなどの施設をすることにより利用者に不便をかけ、警備員もいなくなるため安全に海水浴を楽しむことができなくなる。 また、旧町時代から続いている海水浴場を廃止することは一般住民の福祉の増進に寄与できなくなる恐れがある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	砂浜の除石作業や海水浴場の管理運営、水難事故防止業務など最低限の費用であり削減できない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	委託を最低限の賃金で行なっていることにより、削減できない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	誰でも使用できる施設であり、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	施設の簡易な修繕を行いながら、引き続き利用者が満足できるように事業を行なう。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	平成29年度も引き続き利用者が満足できるように事業を行なうことが望ましい。 (平成32年度より水難事故防止監視を連動(台風時の閉場判断等)して行なってもらっている国分キャンプ海水浴場と一緒に指定管理に入れることを検討する)						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0107010403030308	事務事業名	霧島神宮温泉郷旅館協会運営支援事業		担当部	商工観光部
政策名	03	活力ある産業のまちづくり			担当課	観光課
施策名	03	観光業の振興			担当課長	八幡 洋一
基本事業名	03	観光客の受入体制充実			グループ	観光PRG
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)	
	款	07 商工費			根拠法令・条例等 霧島市補助金交付規則	
	項	01 商工費				
	目	04 観光費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島神宮温泉郷旅館協会の運営費補助として補助金を交付している。
 (市の活動) 霧島神宮温泉郷旅館協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。
 (各旅館協会の活動) 霧島神宮温泉郷地区を訪れた観光客の受入れのための事業を行う。(パンフレット作成、クーポンの発券等) ※霧島神宮温泉郷旅館協会とは、観光客誘致を目的として設立した団体。霧島神宮周辺の宿泊施設を会員として運営されている団体である。
 (団体の活動)
 霧島神宮温泉地区への誘客を行うため、宣伝事業としてパンフレット、温泉クーポンを作成した。また、イベント事業としてグランドゴルフ大会等を実施した。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 誘客対策事業(自主事業等)の実施回数	回	13	14	14	14
イ 誘客対策事業(チラシ等作成)の実施回数	回	1	1	1	1
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 霧島市を訪れた観光客	観光客数	人	7,568,596	7,959,000	7,557,063	8,118,000
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 霧島を観光してもらおう	事業の実施件数	件	13	14	14	14
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	11
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和25年には国立公園観光協会ができており、下部組織として旅館協会が存在していた。霧島神宮周辺の観光振興を図ることを目的にこの事務事業開始された。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	533	568	568	465
事業費		千円	533	568	568	465
投入量						

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 台湾セールス・台湾関子嶺温泉組合交流会(6月18～21日) 天孫降臨霧島祭(8月29～30日) 霧島山麓グランドゴルフ大会(9月29～30日) 霧島市観光宣伝(都城駅:10月11日～12日) RKBラジオまつり2015(福岡市:10月17～18日) 雲仙市研修(1月19～20日) 国道223号線清掃(2月23日) 別府市研修、観光宣伝(別府市、大分駅:3月4～5日) 大霧島旗争奪高校県道練成大会(3月12～13日) 龍馬ハネムーンウォーク(3月19日) 	天孫降臨霧島祭等のイベントで、来場者のおもてなしや観光宣伝を行うことで、霧島市への観光客誘致を行った。また、他県の温泉地への研修を実施して取り組み等について情報交換を行い、さらに現地で観光宣伝を行って霧島市への誘客に努めた。また、霧島市内の温泉組合・協会と台湾、台南市温泉組合が温泉PR協定を結び、交流を図った。

事務事業コード	0107010403030308	事務事業名	霧島神宮温泉郷旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部
			業	担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 結びついていない	霧島神宮温泉郷旅館協会に対する運営補助金は、観光宣伝等の観光客誘致宣伝活動を実施することで霧島神宮温泉郷をより知ってもらい、霧島市へ訪れてもらうことを目的としているため、現在の基本事業の意図とは結びついていない。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、来訪者をもてなす受け皿をつくるため、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等を行い、受入環境を整備する必要があるため妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	霧島市の観光振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客が減少し影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 霧島温泉旅館協会運営支援事業等、他旅館協会への補助事業 観光協会や各旅館協会等と連携した事業を既に行っている。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	入湯税の配分率に応じた補助事業であり、市の負担は削減できない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	旅館協会は市からの補助金だけではなく会費も徴収し運営がなされているので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続・連携					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○			○			
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携を強化し、より効果的な観光宣伝活動を行う。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	観光関係団体と連携を行い、事業推進における相互協力や、実施事業の合理化を検討する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030309	事務事業名	霧島連山周遊バス運行事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2615		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	なし	
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島からえびの高原行き交通アクセスがなく登山者が不便なため、平成17年度から毎週土日に霧島神宮駅から霧島神宮、高千穂河原を経由してえびの高原まで2往復バスを運行していたが、平成23年3月12日以降からは九州新幹線全線開業に伴い、利用者の利便性の向上のため毎日運行している。平成25年5月に登山者及び他のバス路線の現状を踏まえ、丸尾を拠点としてダイヤ変更を行った。
 【委託先】いわさきバスネットワーク(株)
 【バス停】丸尾～えびの高原～高千穂河原～丸尾
 【料金】丸尾～えびの高原(420円)→高千穂河原(740円)→丸尾(1,020円)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 延べ運行便数	便	1,436	1,460	1,448	1,460
イ 運行日数	日	359	365	362	365
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 霧島山の登山者	霧島山の登山者数(韓国岳、高千穂峰、大浪池)	人	64,208	90,000	67,588	70,000
イ						
ウ						
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 2次交通アクセスが確保する	霧島連山バスの利用者数	人	4,046	5,000	3,996	4,000
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	11
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成17年より霧島からえびの高原行き交通アクセスがなく、登山者が不便であったために開始された。新幹線全線開業を受け2次交通アクセス網の確立のためこれまで、土日(5月のみ毎日)のみの運行であったが、平成23年3月12日からは毎日運行し、霧島神宮駅～霧島神宮～高千穂河原ビジターセンター～新湯交差点～大浪池～えびの高原の路線で運行した。平成25年5月から、登山者及び他のバス路線の現状を踏まえ、丸尾～えびの高原～高千穂河原ビジターセンター～丸尾の路線を運行している。

4. 事業費の推移

事業費	単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
国庫支出金	千円	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	7,962	9,000	8,049	8,200
事業費	千円	7,962	9,000	8,049	8,200

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
平成27年度も利用者状況を踏まえ、引き続き平成26年度までと同様のダイヤで運行を行った。 1日4便 年間利用者数は3,996人 バス運行委託料 8,049,229円	乗車人数は平成26年度とほぼ同様であった。また、「霧島市地域公共交通網形成計画」策定に係る調査で本路線バスにも意見が寄せられた。

事務事業コード	0107010403030309	事務事業名	霧島連山周遊バス運行事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	霧島山の登山者の2次交通アクセスを確保することで、来訪者をもてなす受け皿ができる。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるため妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	現在の火山活動状況や他の交通網を考慮して、新たなルート、利用者の利便性に合わせたルートなど検討することで、向上の余地はある。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	観光客の霧島山への交通手段がなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 コミュニティーバス運営事業、妙見温泉バス運行事業 コミュニティーバス運営事業とは対象・意図が異なるので統合・連携は難しいが、妙見路線バス運行事業とは、ともに観光路線バスであることから、統合・連携する余地がある。
	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	利用者のニーズに合わせ、運行計画の変更等を行うことで、運賃収入が増え、事業費の削減が図られる。
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	委託料の交付事務のみであるので削減の余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	バス利用者からは乗車賃を徴収しており、公平公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善の方向性	○			○	○		
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	霧島連山周遊バス運行事業と妙見路線バス運行事業は観光客の2次アクセスの確保のために、鹿児島交通株式会社に委託して運行している路線であることから連携・統合について検討する。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	霧島連山周遊バス運行事業と妙見路線バス運行事業は観光客の2次アクセスの確保のために、鹿児島交通株式会社に委託して運行している路線であることから連携・統合することとする。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局	商工観光部 池田 洋一			
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性	○			○	○		
(2)総評	霧島連山周遊バス運行事業と妙見路線バス運行事業は観光客の2次アクセスの確保のために、鹿児島交通株式会社に委託して運行している路線であることから連携・統合することが望ましい。						

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010503030309	事務事業名	道の駅管理運営事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2614		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 6 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	「道の駅」登録・案内要綱	
	項	01 商工費					
	目	05 施設管理費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

道の駅「霧島」は、霧島市霧島田口2583-8に位置し、霧島錦江湾国立公園の霧島地区を周回している国道223号に面しており、標高500mほどの高台にある。駐車場、屋外トイレ、遊歩道及び人口滝を有する道の駅の維持管理運営を委託している。
 【委託先】霧島神話の里公園株式会社
 【委託料】2,592,000円
 【委託業務内容】施設の維持管理及び施設周辺の清掃 九州・沖縄道の駅連絡会議・イベント等への参加、維持管理をする上で必要な会計事務

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 開館日数	日	365	366	366	365
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 道の駅利用者	道の駅利用者数	人	391,503	400,000	386,339	400,000
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 整備・清掃が整った施設を安心して利用できる。	道の駅に関する要件件数	件	0	0	0	0
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	11
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

国土交通省より、国道223号の道の駅として平成6年4月26日に登録、指定された。道の駅の休憩ステーション及び情報発信拠点施設として定着してきている。宮崎、鹿児島を結ぶ主要道の県境周辺に設置されていることで、トイレや昼食等ができることで喜ばれている。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	2,469	2,592	2,592
事業費		千円	2,469	2,592	2,592	2,484

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【施設管理者】 施設の維持管理 お客様への対応 【行政】 管理運営委託料支払(年額2,592,000円)	道の駅の利用者に、地域の情報発信や快適な環境が提供できた。

事務事業 コード	0107010503030309	事務 事業名	道の駅管理運営事業	担当 部	商工観光部
				担当 課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	道の駅利用者が整備・清掃が整った施設を安心して利用でき、来訪者をもてなす受け皿となっている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、霧島市を訪れる観光客の利用する施設を整備する必要があり妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	施設は、現状においても定期的に点検、整備、清掃されているが、維持管理等は常に迅速な対応なども追及すべきであり、向上の余地があるといえる。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	利用客が安心して施設を利用できるように、徹底した維持管理をすることは重要であり、維持管理の行き届かない施設があることは霧島市のイメージダウンに繋がるため廃止・休止の影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は、委託料の支払い事務のみであり、削減余地はない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は、委託料の支払い事務のみであり、削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	トイレや道路情報の案内など24時間誰でも利用できることが「道の駅」登録・案内要綱に基づく、道の駅の条件であり公平・公正さは確保されている。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2)平成28年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	平成28年度も引き続き利用者が満足できるように事業を行なう。						
(3)平成29年度の方向性 (具体的な取組)	指定管理者と密に連絡を取り、平成29年度も引き続き利用者が満足できるように事業を行なうことが望ましい。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030310	事務事業名	花と緑のまちづくり推進事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりグループ		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2615		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 3 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	なし	
	項	01 商工費				なし	
	目	04 観光費				なし	
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価	関連計画	なし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市は、「花は霧島・たばこは国分」と民謡にあるように、花に彩られた霧島を演出し、美しい観光都市のイメージ定着を図るため、霧島ロイヤルホテル隣地と霧島高原国民休養地周辺を利用してそれぞれの場所のイメージに合った花やモミジを植栽している。維持管理については、シルバー人材センター等に委託している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 作業にかかった人員	人	28	30	28	28
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 観光客	観光統計	人	7,568,596	7,959,000	7,557,063	8,118,000
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 花の植栽による景観形成により霧島市に魅力を感じてもらおう。	苦情件数	件	0	0	0	0
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	11
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成3年に開設した上野原縄文の森の残地(市有地)に花を植えることによって、観光客など訪れる人に癒しを与えることを目的に開始された。また、霧島ロイヤルホテル隣地・霧島高原国民休養地周辺・農大跡地・霧島温泉駅等については平成15年から開始された。現在は霧島ロイヤルホテル隣地・霧島高原国民休養地周辺の管理を行なっている。市民や議会などからの意見等は特になし。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	200	200	200
		事業費	千円	200	200	200
投入量						

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
・霧島地区へのモミジの管理及び霧島高原国民休養地植栽地の除草・花壇管理 除草作業費 200千円	観光客が多く訪れる場所、よく目に止まる場所に花などを植栽することで、霧島市を景観の美しい観光都市として印象づけることができ、リピーターの増加に寄与している。

事務事業コード	0107010403030310	事務事業名	花と緑のまちづくり推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に花の植栽による景観形成によって霧島市に魅力を感じてもらえるようにし、来訪者をもてなす受け皿ができることにつながっている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光施設の整備、景観形成等、観光客を受け入れる体制を整える必要があるのが妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	維持管理を徹底することで、観光客数も増加につながり、成果の向上が更に図られる。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	観光施設や観光沿線が花がなく荒れ地の状態だと、観光客に悪い印象を与えてしまうので廃止はできない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 市内各種観光施設維持管理総務事業 市内各種観光施設維持管理総務事業の一部に統合することが出来る。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	手入れのしやすく見栄えの良い花などを植栽する等、植栽を工夫することで事業費の削減の余地がある。 また、現在委託をしているが地元の団体などに管理を任せることで、事業費の削減の余地がある。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	維持管理をすべて外部へ委託しているので、削減余地がない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	老若男女問わず、誰もが見学でき、また憩いの場として利用できる。また観光地の沿線の荒れている原野の整備にもつながり公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○				○		
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	除草作業や枯れているモミジの除去、更新等を行なう。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	事業内容としては除草作業等であり、「市内各種観光施設維持管理総務事業」と統合することとする。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局	商工観光部	池田 洋一		
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○				○		
(2)総評	事業内容としては除草作業等であり、「市内各種観光施設維持管理総務事業」と統合することが望ましい。						

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010503030310	事務事業名	塩浸温泉龍馬公園管理運営事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりグループ		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2615		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 22 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	05 施設管理費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市塩浸温泉龍馬公園は自然環境及び歴史的風土を活かした公園施設を効率的に活用することにより、観光及び産業の振興並びに地域活性化を図るための施設である。資料館「この世の外」は暮末に霧島市を訪れた坂本龍馬の歴史を紹介する施設となっている。温泉の源泉は「塩浸温泉」と「つるの湯」の2種類ある。平成26年度には鹿児島県のリバーフロント整備事業で公園と一体となった石坂川の護岸整備を行い、整備された護岸の遊歩道を散策し、龍馬が入ったといわれる石風呂や川を身近に感じることができる。

営業時間: 午前9時～午後5時

■敷地面積 4097.88㎡ ■施設概要 公園、資料館、温泉棟、足湯、記念碑、トイレ、橋梁、駐車場
 指定管理者: 特定非営利法人薩摩龍馬会 指定期間: 平成27年度～平成31年度
 利用料金: 入浴料 (大人360円、子ども140円)、資料館入場料300円。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	開園数	日	363	364	361	363
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客 (宿泊+日帰り)	人	7,568,596	7,959,000	7,557,063	8,118,000
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 施設を利用してもらう	施設利用者数	人	170,780	177,600	166,965	173,600
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	11
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和44年に牧園町営温泉センターとして開館し、平成22年度に現在の公園としてリニューアルオープンした。その後、手すり設置工事、平成23年度は貯水槽設置、温泉棟改修、源泉改修を行った。
 平成27年4月には来場100万人を達成した。温泉利用者などからは温泉施設の不具合等の折に不満が聞かれた。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	11,402	9,726	9,725	9,827
事業費		千円	11,402	9,726	9,725	9,827
投入量						

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【塩浸温泉龍馬公園指定管理委託料】 9,712,440円	観光客に対して公園内の施設案内や歴史案内等を行っており、平成27年4月には来場者100万人を達成した。 また、温泉のポンプ部分や足湯の配管部分に付着した温泉成分の塊であるスケールを除去するなど施設整備を行い、利用者に快適な環境を提供することができた。 平成27年4月1日から引き続き特定非営利法人薩摩龍馬会が指定管理者として管理している。

事務事業コード	0107010503030310	事務事業名	塩浸温泉龍馬公園管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に施設を利用してもらうことで、来訪者をもてなす受け皿ができる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	温泉施設、足湯、資料館等の魅力を発信するための施設であり、観光客の受入につながることから市が行うことが妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	魅力ある施設として景観や施設整備を行い、観光客が行きたいと思えるような取組をすることで観光客が増加する可能性がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	施設が廃止されると坂本龍馬に興味を持つ人や塩浸温泉の泉質を好んで訪れる観光客が霧島市を訪れなくなる可能性があり、観光誘客に影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	利用料金制(施設利用の料金が指定管理者の収入となる制度)を採用しているので、料金収入が向上すれば、指定管理者への委託料を削減できる。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打ち合わせ、委託料交付、施設修繕等、指定管理者の適正な運営を確保するために必要な最低限の事務であり削減できない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民や観光客、誰でも利用できる施設であり、温泉、資料館は利用者から利用料金を徴収しているので、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	施設の利用者数が減少しているため市と指定管理者が連携し、来園者の増加と満足度を向上するような情報発信などを行う。施設についても約6年が経過し、また日当たりの悪い場所にあり、施設の傷みや外観の印象が悪くなっているため、施設の整備を実施する必要がある。また、今年は坂本龍馬が妻お龍と霧島市を訪れて150年であり、指定管理者がこれに因んだイベント等を実施し、誘客に努める。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	観光客の誘客のための情報発信や来園者の満足向上のための取組を市と指定管理者と連携を図りながら観光客の増加に努める。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030311	事務事業名	霧島市花火大会開催支援事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡 洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRグループ		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2612		
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 20 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

合併前に各地で行われていた花火大会を統合し、市政3周年(平成20年度)、市政5周年(平成22年度)、市政7周年(平成24年度)と、これまで隔年置きに花火大会を開催しており、平成25年度から毎年開催することとしている。平成27年度においても、花火大会を開催する霧島市花火大会実行委員会へ補助金を交付し開催支援を行う。

花火大会を企画運営する実行委員会(事務局:霧島商工会議所)に対し、市は補助金交付に関する手続きを処理する。(申請受付、決定、補助金交付、実績確認、精算確定)また、花火大会を共催し、花火大会実行委員会の一員として、事務局と各種業務を連携して実施している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 花火大会に訪れた人数	人	20,000	30,000	30,000	30,000
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 市民	霧島市の人口	人	126,773	129,360	126,962	129,679
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 花火大会に訪れることにより、霧島市の魅力を再認識できる	花火大会に訪れた人数	人	20,000	30,000	30,000	30,000
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	11
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

合併前に各地で行われていた花火大会を統合し、市政3周年(平成20年度)、市政5周年(平成22年度)、市政7周年(平成24年度)と、これまで隔年置きに花火大会を開催していたが、毎年花火大会を開催してほしいという要望を受け、平成25年度より毎年花火大会を開催することとしている。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	11,520	14,000	14,000	12,000
	事業費	千円	11,520	14,000	14,000	12,000

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
平成27年度は、10月3日(土)に、霧島市制10周年記念大会とし、花火8,000発と音とレーザー組み合わせて開催した。	今年度は、市制施行10周年記念大会、更には国民文化祭30日前イベントと組合せ、花火8,000発と音とレーザー光線を交えた演出により、例年になく盛大に実施できた。

事務事業コード	0107010403030311	事務事業名	霧島市花火大会開催支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が、花火大会に訪れることにより、霧島市の魅力を再認識でき、観光に活用できる商品の開発に繋がる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は、県内外からの観光客を誘致する観光素材となるため妥当である。 市民がイベントに出向くことで経済需要の喚起につながる。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	花火大会会場である国分キャンプ海水浴場の周辺施設等を含めた取容可能人数を30,000人としており、それ以上の観客数は観客や運営スタッフの安全を考慮すると難しいが、開催日の天候が悪くても同観客数が訪れるような開催告知、内容にすることは必要である。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市民をはじめ県内外の方が楽しみにしている同花火大会を中止することは、市民の一体感の阻害や開催に伴い期待される経済効果の喪失に繋がる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	企業や個人へのあらゆる方法で協賛を行い実行委員会の収入を増やし、事業費への充当や補助金の削除をすることができる。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事務局は霧島商工会議所が担っており、開催に伴う各種手続き、準備を主体的に行っている。市は補助金交付手続きと共催としての役割を担っているに過ぎず、これ以上人件費を削減することは出来ない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	誰でも花火大会を見ることができるため、公平性は確保されている。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	規制区域内の住民や来場者については、これまでの規制等に順応してきたため大きなトラブル等も発生しなかった。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	マスコミや各種情報提供媒体等を効果的に活用し、長期的に告知を行いながら、旅行会社による旅行ツアーの販売や個人観光客の旅行目的になるような花火大会の開催を目指す。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0107010503030311	事務事業名	Wi-Fi環境整備事業	担当部	商工観光部	
				担当課	観光課	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡洋一	
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりグループ	
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2615	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	■ 単年度のみ	
	款	07 商工費			□ 単年度繰返 (開始年度 年度～)	
	項	01 商工費			□ 期間限定複数年度 (H26 ~ H27)	
	目	05 施設管理費			根拠法令・条例等	
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

観光客がスマートフォンやタブレットなどを旅行先でも無料でインターネット経由で現地の観光情報を収集したり、情報発信できるようにするため、市内の観光施設にWi-Fiスポットを設置する。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	Wi-Fi設置数	施設		12	10	
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	市が所有する主な観光施設					
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	Wi-Fiを設置する。					
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる。					
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

「観光客の誘致につながるので、Wi-Fi環境の整備を行ってほしい」「積極的に導入を行っている企業・自治体等があるため、観光立市を目指す霧島市も早急に整備してほしい」との要望が寄せられている。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	2,000	0	2,000	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	52	0
	一般財源	千円	100	0	0	0
	事業費	千円	2,100	0	2,052	0

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
10施設にWi-Fiスポットを設置した。 1 霧島高原国民休養地 2 霧島高原乗馬施設 3 塩浸温泉龍馬公園 4 和気公園 5 霧島市観光案内所 6 霧島温泉観光案内所 7 旧田中家別邸 8 嘉例川駅 9 大隅横川駅 10 霧島神話の里公園	Wi-Fiを設置したことで、利用者の利便性が向上した。

事務事業コード	0107010503030311	事務事業名	Wi-Fi環境整備事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？		
	<input type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？		
	<input type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	(2)平成28年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)						
(3)平成29年度の方向性 (具体的な取組)							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	(2)総評						

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030312	事務事業名	妙見路線バス運行事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		担当課長	八幡洋一		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		グループ	観光地づくりG		
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 22 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	なし	
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価	関連計画	観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

これまで、妙見温泉振興会が運行していた妙見温泉バスを新幹線全線開業に伴い、二次交通アクセス網の拡充を図るため平成23年3月12日から市内民間バスの運行しているいわさきバスネットワークに委託して運行している。
 このことで、市内を走るいわさきバスを利用できる観光客にお得な一日乗車券の発行ができた。
 【委託先】いわさきバスネットワーク(株)
 【バス停】隼人駅→鹿児島神宮→妙見温泉→嘉例川駅→鹿児島空港
 【料金】 (140円) (340円) (520円) (650円)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 延べ運行便数	便	4,015	4,015	4,004	4,015	4,015
イ 運行日数	日	365	365	364	365	365
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 空港等を利用する観光客	空港利用者数	千人	5,172	5,223	5,192	5,275	5,296
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 2次交通アクセスを確保できる	妙見路線バス利用者数	人	6,497	8,000	6,252	6,300	6,400
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	11	10
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成14年度より鹿児島空港、隼人駅、嘉例川駅からの交通アクセスがなく、観光客が不便であったために開始された。 これまでは、妙見温泉振興会の妙見温泉バスを運行していたが、新幹線全線開業に伴い、二次交通アクセス網の確立のため市の意向により、市の委託事業として、いわさきバスによる運行している。このことで、市内のいわさきバスを利用する一日乗車券の発行ができた。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	11,776	12,228	12,096	12,267	12,300
	事業費	千円	11,776	12,228	12,096	12,267	12,300

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の実績 (取組) <左記の実績(取組)による成果を記載>
平成28年2月8日から14日まで妙見路線バスの実態調査を行った。 1日11便 利用者数 6,252人 バス運行委託料 12,096,398円	実態調査の結果より、多くの方が観光目的に利用しており、再度妙見路線バスを利用したいとのことだった。

事務事業コード	0107010403030312	事務事業名	妙見路線バス運行事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	空港等を利用する観光客の2次交通アクセスを確保することで、来訪者をもてなす受け皿ができる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるので妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	乗車人員が増加すれば運賃収入額も増え、財政健全化が図られる。今後も利用客のニーズに合うような対策を講じ、新たな路線の新設など成果の向上余地はある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	空港や嘉例川駅から妙見への移動手段がなくなり、来訪者の利便性が図られない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 コミュニティバス運営事業、霧島連山周遊バス運行事業 コミュニティバス運営事業とは対象・意図が異なるので統合・連携は難しいが、霧島連山周遊バス運行事業とは、ともに観光客をターゲットにしていることから、統合・連携する余地がある。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	利用者のニーズに合わせ、運行計画の変更等を行うことで、運賃収入が増え、事業費の削減が図られる。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	委託料の交付事務のみであるので削減の余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	バス利用者からは乗車賃を徴収しており、公平公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善・コスト縮小 >					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善の方向性	○			○	○		
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	霧島連山周遊バス運行事業と妙見路線バス運行事業は観光客の2次アクセスの確保のために、鹿児島交通株式会社に委託して運行している路線であることから連携・統合について検討する。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	霧島連山周遊バス運行事業と妙見路線バス運行事業は観光客の2次アクセスの確保のために、鹿児島交通株式会社に委託して運行している路線であることから連携・統合することとする。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局	商工観光部 池田 洋一			
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性	○			○	○		
(2)総評	霧島連山周遊バス運行事業と妙見路線バス運行事業は観光客の2次アクセスの確保のために、鹿児島交通株式会社に委託して運行している路線であることから連携・統合することが望ましい。						

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030313	事務事業名	空港PRブース管理運営事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡 洋一		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2612		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 24 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

鹿児島空港40周年を記念し、多様な集客機能と情報発信機能を持つ空港ビルにおいて、平成24年10月1日より広く霧島市の観光や特産品等をPRするとともに、観光客等に対して安心して旅のできる「おもてなし」の充実を図る。

【主な委託業務】委託先:公益社団法人 霧島市観光協会
 スタッフの雇用及び育成・運営企画・観光案内・問い合わせ対応・特産品提供によるPR・各種イベント等情報提供

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 空港利用者・旅行者	千人	5,172	5,000	5,192	5,275
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 空港利用者・旅行者	鹿児島空港延べ利用者数	千人	5,172	5,000	5,192	5,275
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 空港で霧島市の最新情報を手軽に入手することができる。	案内した人数	人	139,276	100,000	88,588	90,000
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	15	12	17	11
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

鹿児島空港開港40周年を記念し、鹿児島空港ビルディング(株)から同ビル内の1階ロビーに、公共的機関による観光PRブースを設置する計画があり、鹿児島県観光連盟、鹿児島県特産品協会及び霧島市へ出展案内があった。鹿児島空港は年間約500万人の航空機利用者に加え、送迎者や従事者も多数いることから、広く県内外の方に霧島市の観光情報提供や特産品等をPRする絶好の場と機会を得ることができるとして出展を実施することとした。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	17,183	17,000	17,000	17,000
事業費		千円	17,183	17,000	17,000	17,000

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
観光や特産品のPRは、テレビやラジオなどの活用、パンフレットやポスターの作成、各種キャンペーンなどを中心に行われているが、年間500万人の利用客がある鹿児島空港において常時情報を提供することで、観光客誘客だけでなく、特産品等のPRに大きく繋がる。 また、旅行の形態が個人や小団体に移行する傾向があり、現地でのおもてなしや最新の様々な情報を入手できる体制が整っていることが求められる。 平成27年度の接客実績は、観光案内ブース88,588人、うちお茶ブース24,442人。	観光PRブースを訪れる観光客に対して、霧島市の情報を提供したり、霧島市の特産品をふるまい、おもてなしを行うことで、霧島市の知名度向上に努めた。 さらに、黒酢・ブルーベリー・梨・いちご・霧島茶の特別キャンペーンを行い、特産品をPRすることが出来た。

事務事業コード	0107010403030313	事務事業名	空港PRブース管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？	霧島市空港PRブースで、鹿児島空港利用者に対して、霧島市の最新の観光情報を提供や特産品であるお茶の振る舞いを行うことにより、霧島市の知名度向上につながることも霧島市を訪れる観光客をもてなす受け皿作りに結びついている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない		
B 有効性	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？	年間500万人以上の航空機利用客を有する鹿児島空港所在地としての優位性を生かし、観光や特産品のPRを積極的に行うことで、観光振興による雇用、税収の確保につながるものである。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
C 効率性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？	霧島市のPRブースであることをより強調することで、PR効果を高めることができるが、設置者である鹿児島空港ビルディングとの協議が必要である。	
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
D 公平性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	観光案内所管理運営事業・市観光協会活動支援事業
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない	観光案内業務は指定管理方式または運営補助金であり、鹿児島空港については鹿児島空港ビルディングから霧島市が借り入れて事業を行っているため、業務委託方式となり他と統合できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	委託事業内容の人件費については最低人数でローテーションを調整しているため削減できない。 PR事業については、特産品の提供などにより事業費を削減できる。		
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	職員の新たな配置、人件費の増加を既に抑制した。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	霧島市の情報を広く提供するものであり、一部の受益者に負担を求めるものではないため公平・公正である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	季節に応じた旬な情報提供 茶生産者や黒酢組合等と連携した特産品PR 観光パネルを活用した情報の発信						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	観光PRブースを訪れる観光客に対して、霧島市の情報を提供したり、霧島市の特産品のふるまいやおもてなしを行うことで、霧島市の知名度向上に努める。 また、黒酢、ブルーベリー、梨、霧島茶の特別キャンペーンを行い、特産品をPRする。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	01070104030309003	事務事業名	外国人観光客誘致促進事業	担当部	商工観光部	
				担当課	観光課	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課長	八幡 洋一	
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG	
基本事業名	04	海外からの観光客の誘致		内線番号	2611	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 23 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)	
	款	07 商工費			<small>根拠法令・条例等</small> 霧島市観光基本計画	
	項	01 商工費				
	目	04 観光費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

海外誘客と航空機利用促進を図るため、鹿児島県や鹿児島県観光連盟、市内観光関係団体、宿泊施設と連携し、外国人観光客の誘客促進活動を行う。
 【誘客事業】
 ・アジアを中心とした現地セールス、旅行説明の実施。
 【受入体制】
 ツアー商品等造成のための旅行エージェント(旅行会社)との商談会による情報提供、現地視察案内、ツアー企画の協力支援。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	海外誘致セールス回数	件	3	3	6	6	6
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 外国人 (定期航空路線就航地を主とする)	鹿児島空港国際線定期便就航路線	路線	4	4	4	4	4
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 霧島市の情報を知る	海外誘致セールス回数	件	3	3	6	6	6
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう	外国人宿泊観光客数	人	88,063	100,000	110,932	121,000	133,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

国内観光客の需要が減少する中で、海外からの観光客は年々増加傾向にあり、国内においては年間訪日外国人人数が2,000万人を超える勢いである。
 4定期路線を有する本市においても、順調に推移しており、インバウンド対策として観光案内看板の多言語表記や公衆無線LAN整備など、年次的に整備してきた。
 議会から、空港所在地として、航空機利用対策にも取り組むべきであるとの声がある。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,229	4,981	4,848	2,242	2,270
	事業費	千円	5,229	4,981	4,848	2,242	2,270

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島県や鹿児島県観光連盟等と連携した海外セールスの実施・参加 (6回: 香港(2回)・台湾・韓国(2回)・タイ) 霧島市単独のインバウンドセミナーの開催(2回) 旅行エージェントとの商談会による情報提供 海外雑誌記者等の現地視察案内・ツアー企画の協力支援 	鹿児島県や鹿児島県観光連盟等と連携して海外セールスや海外旅行エージェントへの商談会等を行い、また、雑誌記者や有名ブロガーを招聘し、霧島市の魅力を海外に発信するなど、霧島市の観光情報発信を行うことで、霧島市の知名度向上及びPRに努めた。 また、特別企画ツアー等による外国人観光客受入時のノベルティ(関平鉱泉水・黒酢キャンディ)配布を行った。

事務事業コード	0107010403030403	事務事業名	外国人観光客誘致促進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	鹿児島空港に定期航空路線を持つ地域を中心として、霧島市の観光情報を発信することは、霧島市での外国人観光客増加に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	外国人宿泊者が増加し交流人口が増加することは、地域活性化の一助となり、市の税収増加につながるため、妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	単なる現地セールスだけではなく、霧島の伝統芸能や食などを絡めた効果的で印象的なプロモーションを実施することで、海外における霧島市のイメージアップに繋がり、訪日外国人客の増加に繋がる。 また、現地キーパーソンとの関係強化を図り、国や県、周辺市町村と連携した事業を行うことで、霧島市の情報を現地において得る機会を増やすことが出来る。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	海外における霧島市の情報発信の機会が少なくなり、宿泊者数の減少により観光業界の収入が減少する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 ビジットジャパン地方連携事業 等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	国や県が実施している類似の事業と結合することはできないが、国県や周辺市町、市内宿泊施設や観光施設との連携は可能である。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	外国人誘客は市の重要な観光施策となっており、更なる受入態勢の整備・充実が求められているため、削減できない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	職員の事務としては、情報提供、現地セールス、霧島市における受入対応の必要最低限の事務であり削減できない。むしろ、人口減少時代を迎える地域にとって海外からの誘客拡大は欠かせないことから、一層の強化が求められている。また、旅行エージェンツの視察、商談会等については、既に関係機関の協力のもと実施しており、委託業務とすると更なる事業費の拡大につながる。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	訪日外国人が霧島市を訪れて市内の宿泊、観光施設、販売店等に立寄ることは外貨を稼ぐことであり地域経済に与える効果が高い。そのために、霧島市の魅力的な観光素材をPRし誘客を図ることは公正・公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○		○			
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	海外においては、霧島市はもとより鹿児島県自体も知名度が低いことから、国・県、周辺自治体、宿泊施設、観光施設など官民一体となった誘客活動を積極的に行う。 そのために、国別のマーケットニーズや情勢をしっかりと把握するため、28年度から国別担当者を据え、しっかりとした体制のもとで誘客活動、招聘事業、情報発信や受入態勢整備を行っていく。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	海外マーケティング調査・分析に基づく戦略を基本に、現在、定期路線が就航している国以外にも積極的にセールスを展開し、また、他県を訪れた外国人を本市に引き込む施策にも取り組んでいく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	0107010505020202	事務事業名	浜之市ふれあいセンター管理運営事業			担当部	商工観光部	
						担当課	観光課	
政策名	05	たすけあい支えあいまちづくり			担当課長	八幡洋一		
施策名	02	こころと身体の健康づくりの推進			グループ	観光地づくりG		
基本事業名	02	こころと身体の健康管理の実践・支援			内線番号	2614		
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 14 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費				根拠法令・条例等	霧島市浜之市ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例	
	項	01 商工費						
	目	05 施設管理費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

「浜之市ふれあいセンター」の維持管理に関する事業。施設内には温泉施設「富の湯」、地域特産品の展示・販売コーナーの展示棟や調理実習室・研修室がある。また屋外には足湯もある。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 開館日数	日	310	312	312	312
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 市民	市人口(4月1日現在)	人	127,259	128,000	126,962	129,679
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 当施設を利用してもらう。	富の湯利用者数	人	36,562	37,300	42,215	43,000
イ	展示棟使用者数	人	52		45	
ウ	研修室等使用者数	人	1,567		1,121	

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア ころと身体の疾病予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。	健診を受診した市民の割合	%	50	55	49	57
イ	ころの持ち方に気をつけている市民の割合	%	44	46	39	47
ウ	予防接種率	%	69	73	88	74

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成14年にオープン。平成25年度まではシルバー人材センターの指定管理。平成26年度からは観光課による直営で管理を行っている。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	12,000	11,927	13,180	0
	一般財源	千円	2,121	2,586	1,197	2,681
事業費		千円	14,121	14,513	14,377	2,681

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
富の湯利用者数 42,215人 展示棟使用者数 45人 研修室等使用者数 1,121人	サウナ敷マット置台修繕、風呂場排煙窓修繕、女子トイレ扉修繕、男湯シャワー修繕、遠赤外線サウナヒーター修繕、サウナスノコ張替修繕、高圧洗浄機バルブ交換修繕、高圧洗浄ホース取替修繕を行った。

事務事業コード	0107010505020202	事務事業名	浜之市ふれあいセンター管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民に当施設を利用してもらうことで、こころと身体の疾病予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民のこころと身体の健康管理の支援は、市の責務であり、当施設は市の施設であるので妥当である。受け入れ体制を整えることで、利用者の増加につながる。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	施設は、現状においても定期的に点検、整備、清掃されているが、維持管理等は常に迅速な対応なども追及すべきであり、向上の余地があるといえる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	利用客が安心して施設を利用できるように、徹底した維持管理をすることは重要であり、維持管理の行き届かない施設があることは霧島市のイメージダウンに繋がるため廃止・休止の影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 なし 浜之市ふれあいセンターの維持管理をする事業は他にはない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者による管理を行い、より効果的な施設の利用を行うことで、事業費を削減する余地がある。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者による管理を行い、より効果的な施設の利用を行うことで、事業費を削減する余地がある。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	条例に定められた範囲内での利用料金であり、対象者も制限しておらず、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善・コスト縮小 >					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	平成28年度より指定管理者による管理を行い、より効果的な施設の利用を行う。指定管理者の自主事業により、利用客へのサービスの一環としてエアコンを設置する。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	指定管理者と密に連絡を取り、平成29年度も引き続き利用客が満足できるように事業を行なうことが望ましい。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	010701019999901	事務事業名	観光関係各種協議会等参画事業			担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり			担当課	観光課	
施策名	3	観光業の振興			担当課長	八幡 洋一	
基本事業名	1	観光客誘致宣伝活動の展開			グループ	観光PR	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費					
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 観光関係各種協議会への負担金。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	各種協議会数	団体	20	20	20	20
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 観光客						
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 霧島市を知ってもらおう。						
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう。						
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 特になし。

4. 事業費の推移

		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	14,160	14,160	14,160	14,000
事業費		千円	14,160	14,160	14,160	14,000
投入量						

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績 (取組) による成果を記載>
各種協議会へ参画することにより、官民一体となった取組みの充実、また広域連携による観光の推進を図りながら、観光客の誘客に努めた。	各種協議会の円滑な事業運営が図られた。

事務事業コード	0107010499999901	事務事業名	観光関係各種協議会等参画事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
A 目的妥当性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
B 有効性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	協議会の整理・統合による負担金の削減は可能であるが、それぞれの協議会においては十分機能を果たしているため、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	必要最低限の人員数であり削減できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・連携・統合					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	各種協議会に参画し、観光誘客等の活動を展開する。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	引き続き、現状の体制を維持し積極的に参加・参画していく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

